

第 25 回 江東区政世論調査 〈概要版〉



スポーツと人情が熱いまち

江東区

【調査設計】

- ・ 調査対象 江東区在住の満 18 歳以上の男女
(外国人を含む)
- ・ 調査対象者数 3,000 人
- ・ 調査方法 郵送配布一郵送・Web回収法
- ・ 回収数 1,661 人
- ・ 回収率 55.4%
- ・ 調査期間 令和 3 年 7 月 16 日～8 月 9 日

【報告書〈概要版〉の見方】

- ・ 回答結果は、回答者数を基数とした百分率
で算出し、小数第 2 位を四捨五入してあり
ます。このため、百分率の合計が 100%に
ならない場合があります。

江東区

令和 3 年 (2021 年) 12 月

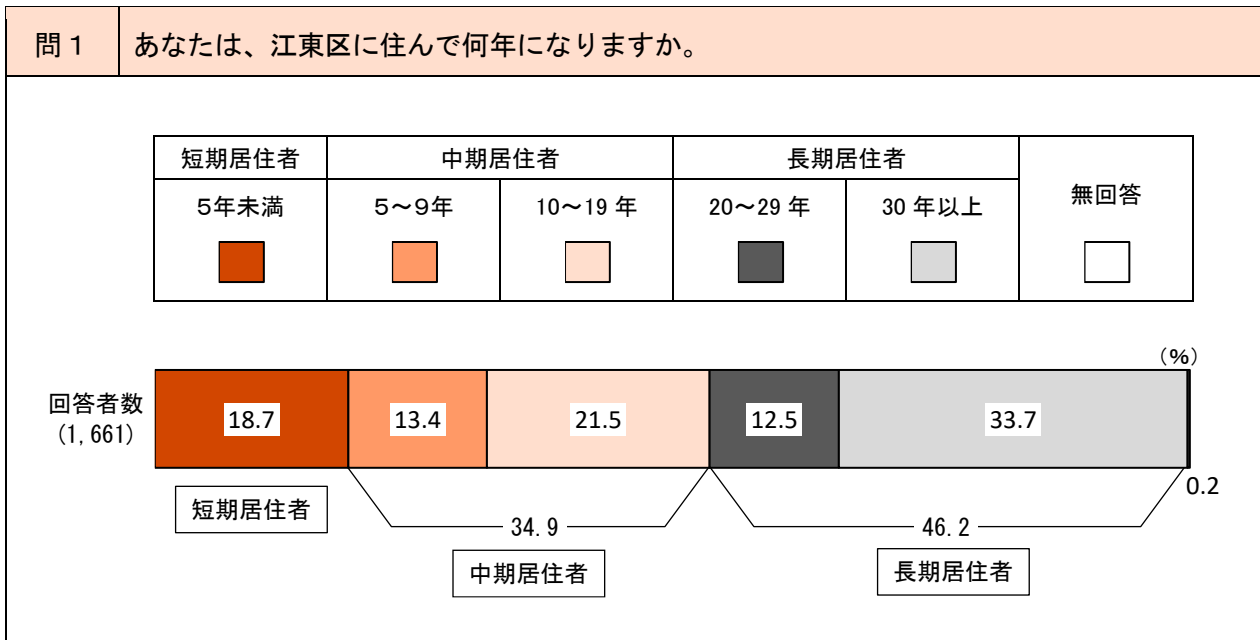
【調査項目】

1. 定住性 1
2. 防災対策 3
3. ごみ・リサイクル 7
4. 交通 8
5. 選挙 11
6. 区議会 14
7. 図書館 15
8. 江東区ブランディング戦略 . . . 16
9. 緑化推進 18
10. 公園 21
11. 環境美化 23
12. 児童虐待 24
13. 広報 26
14. ICT 31
15. 男女共同参画 34
16. コロナ禍による生活の変化 . . . 35
17. 施策への要望 36

1 定住性

(1) 居住年数

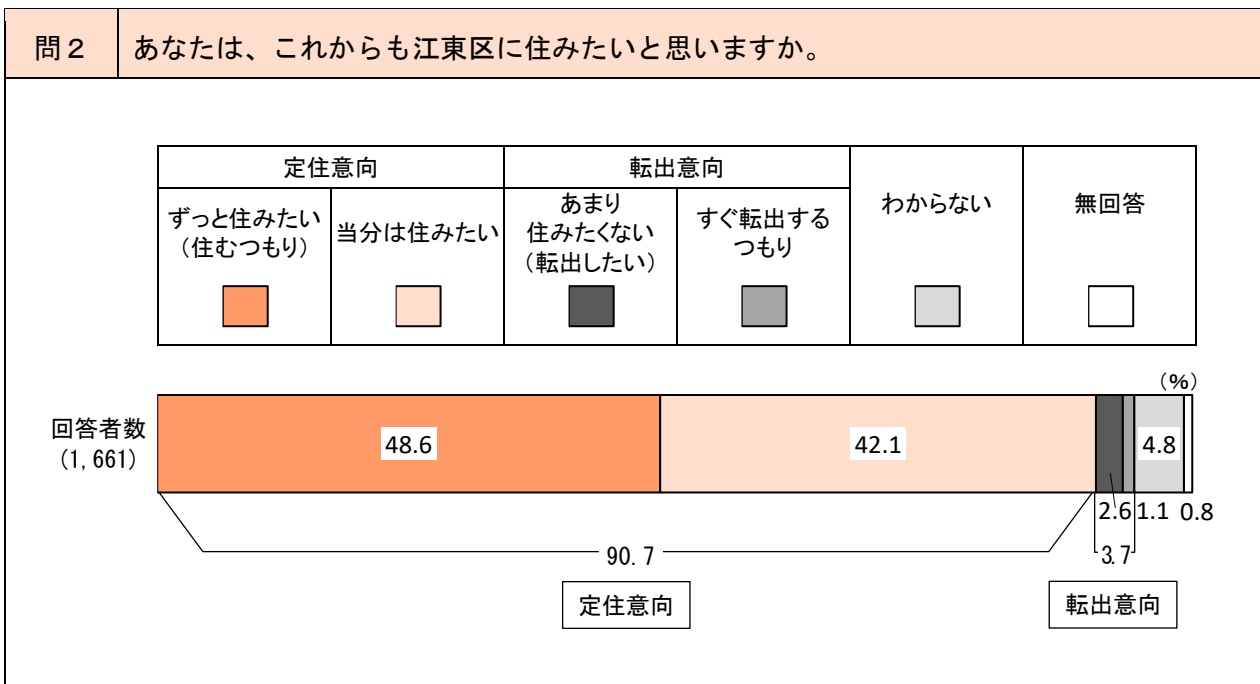
◇《長期居住者》は4割台半ば



○居住年数については、「20～29年」(12.5%)と「30年以上」(33.7%)の2つを合わせた《長期居住者》(46.2%)が4割台半ばとなっている。

(2) 定住・転出意向

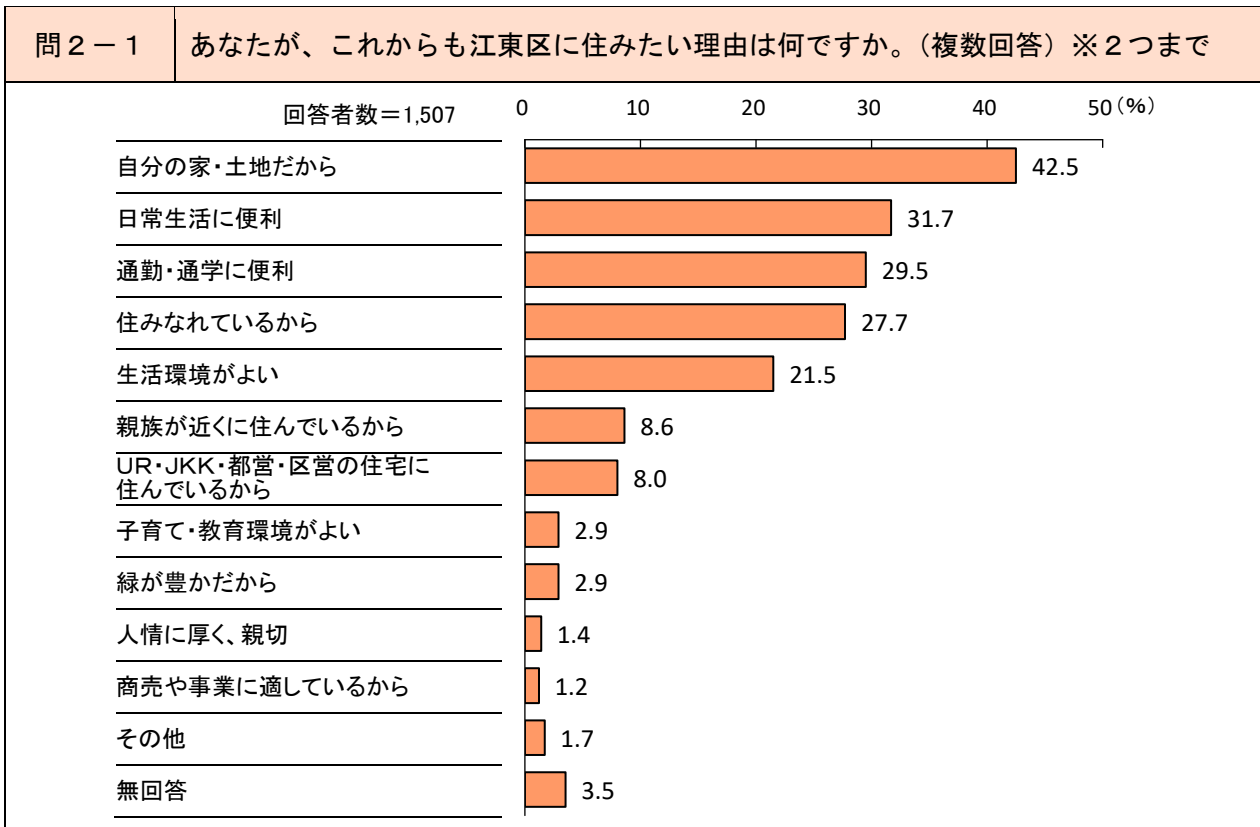
◇《定住意向》はほぼ9割



○定住・転出意向については、「ずっと住みたい(住むつもり)」(48.6%)と「当分は住みたい」(42.1%)の2つを合わせた《定住意向》(90.7%)はほぼ9割となっている。

(3) 定住意向理由

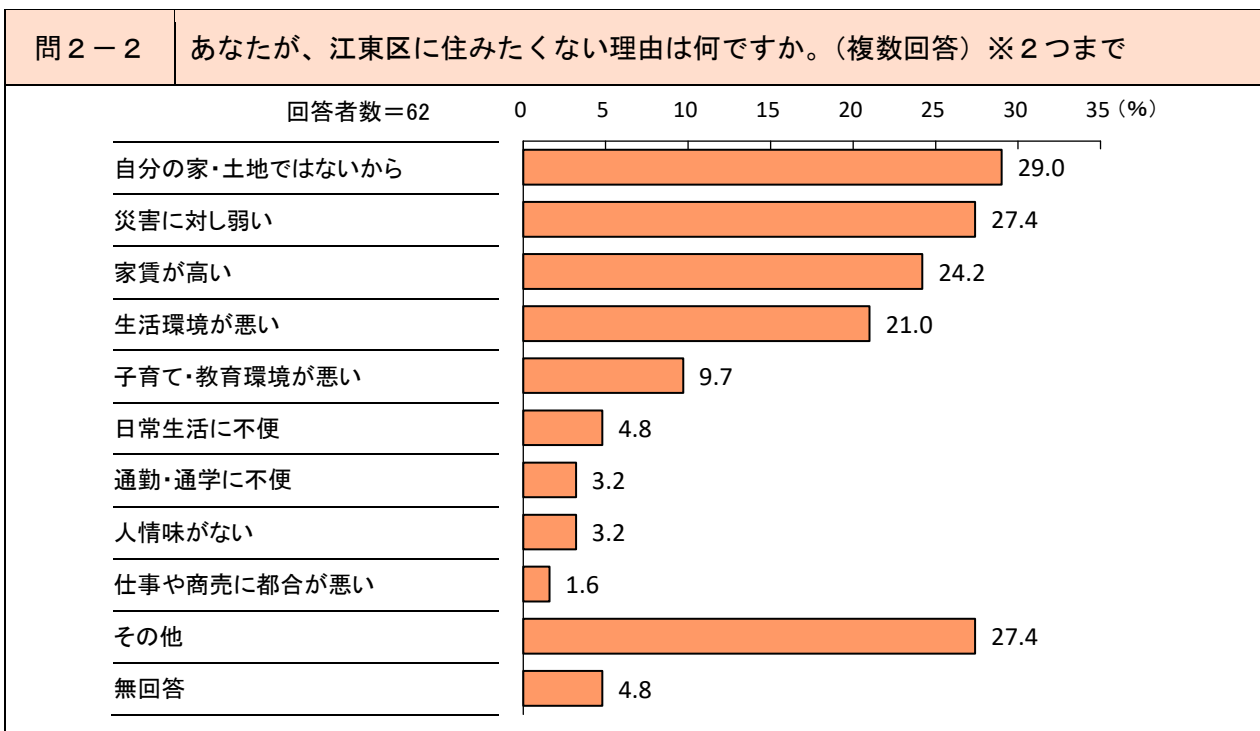
◇「自分の家・土地だから」が4割を超える



○定住意向理由については、「自分の家・土地だから」(42.5%)が4割を超えて最も多く、次いで「日常生活に便利」(31.7%)、「通勤・通学に便利」(29.5%)と続いている。

(4) 転出意向理由

◇「自分の家・土地ではないから」がほぼ3割

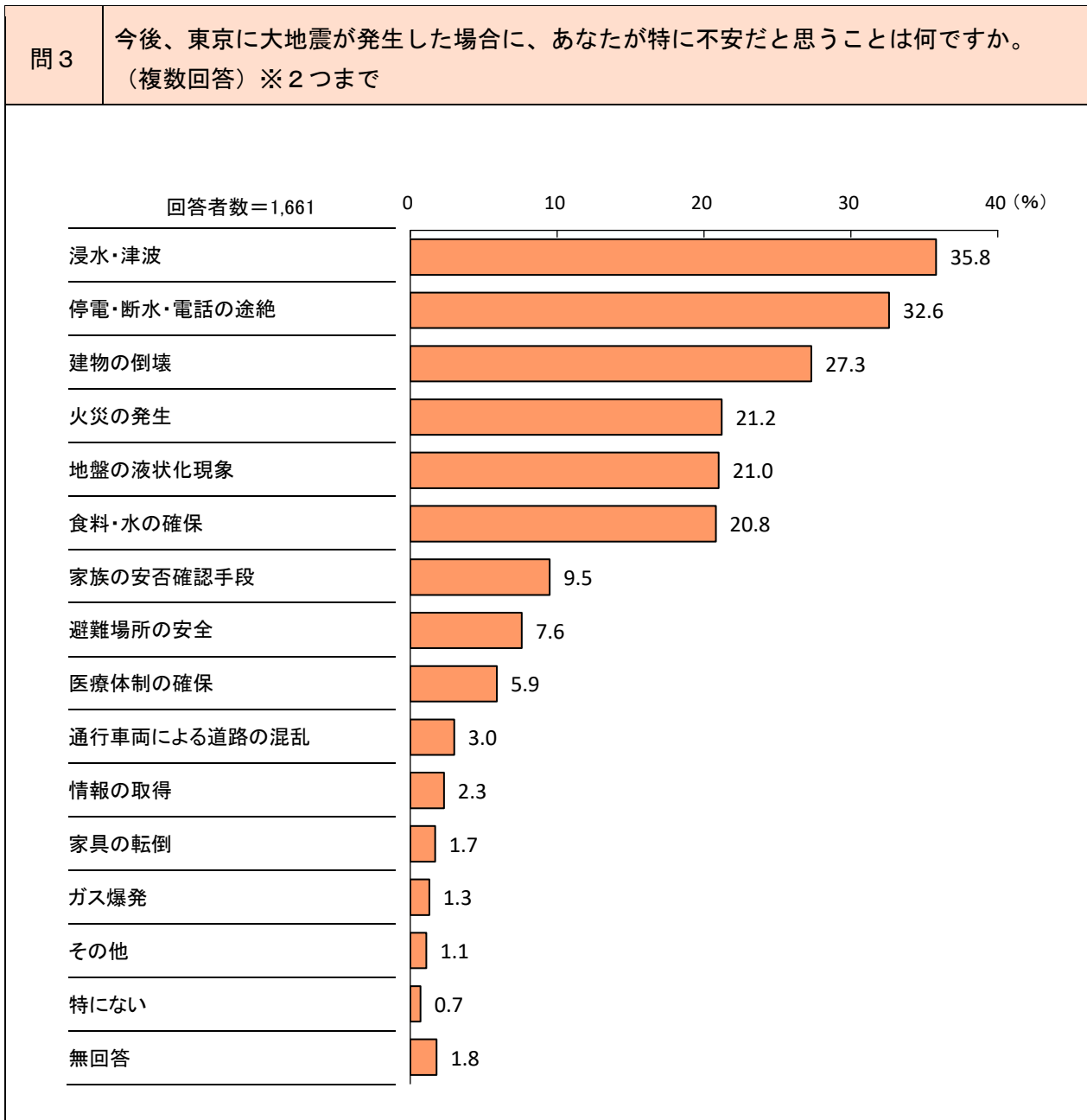


○転出意向理由としては、「自分の家・土地ではないから」(29.0%)がほぼ3割で最も多く、次いで「災害に対し弱い」(27.4%)、「家賃が高い」(24.2%)と続いている。

2 防災対策

(1) 震災時の不安

◇「浸水・津波」が3割台半ば



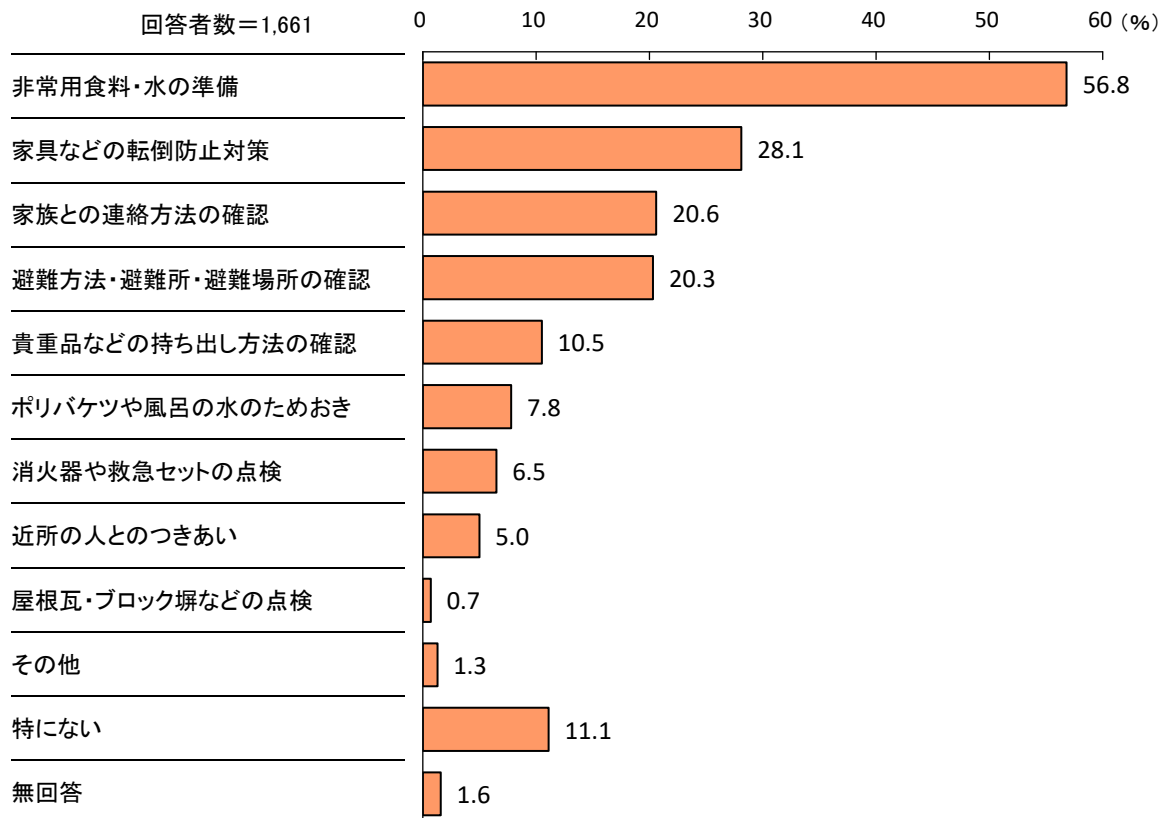
○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「浸水・津波」(35.8%)が3割台半ばで最も多く、次いで「停電・断水・電話の途絶」(32.6%)、「建物の倒壊」(27.3%)と続いている。

(2) 震災時の備え

◇「非常用食料・水の準備」が6割近く

問4

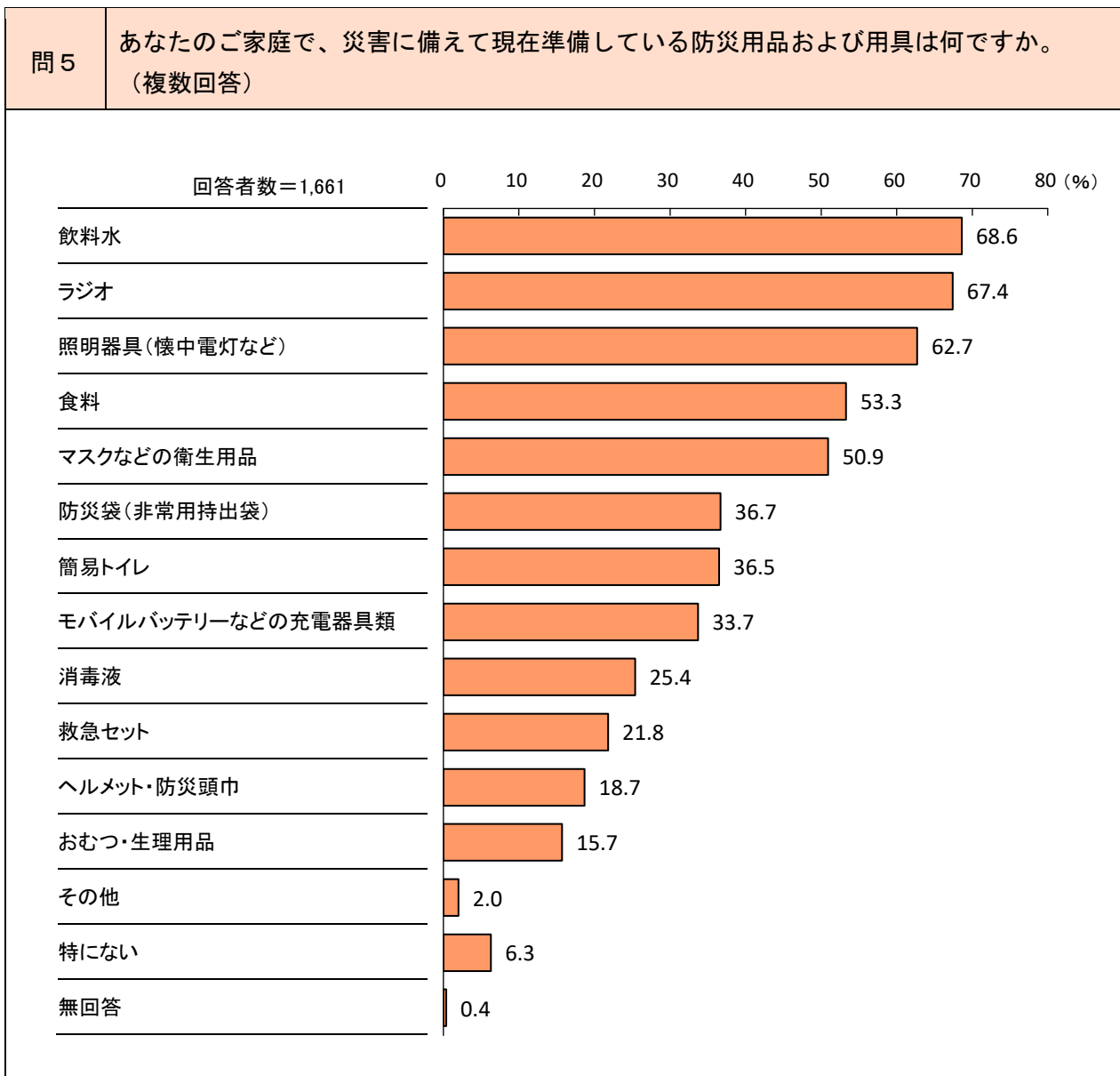
あなたのご家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることは何ですか。
(複数回答) ※2つまで



○大地震に備えて家庭で普段から特に心掛けていることは何か聞いたところ、「非常用食料・水の準備」(56.8%)が6割近くで最も多く、次いで「家具などの転倒防止対策」(28.1%)、「家族との連絡方法の確認」(20.6%)、「避難方法・避難所・避難場所の確認」(20.3%)と続いている。

(3) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「飲料水」と「ラジオ」が7割近く

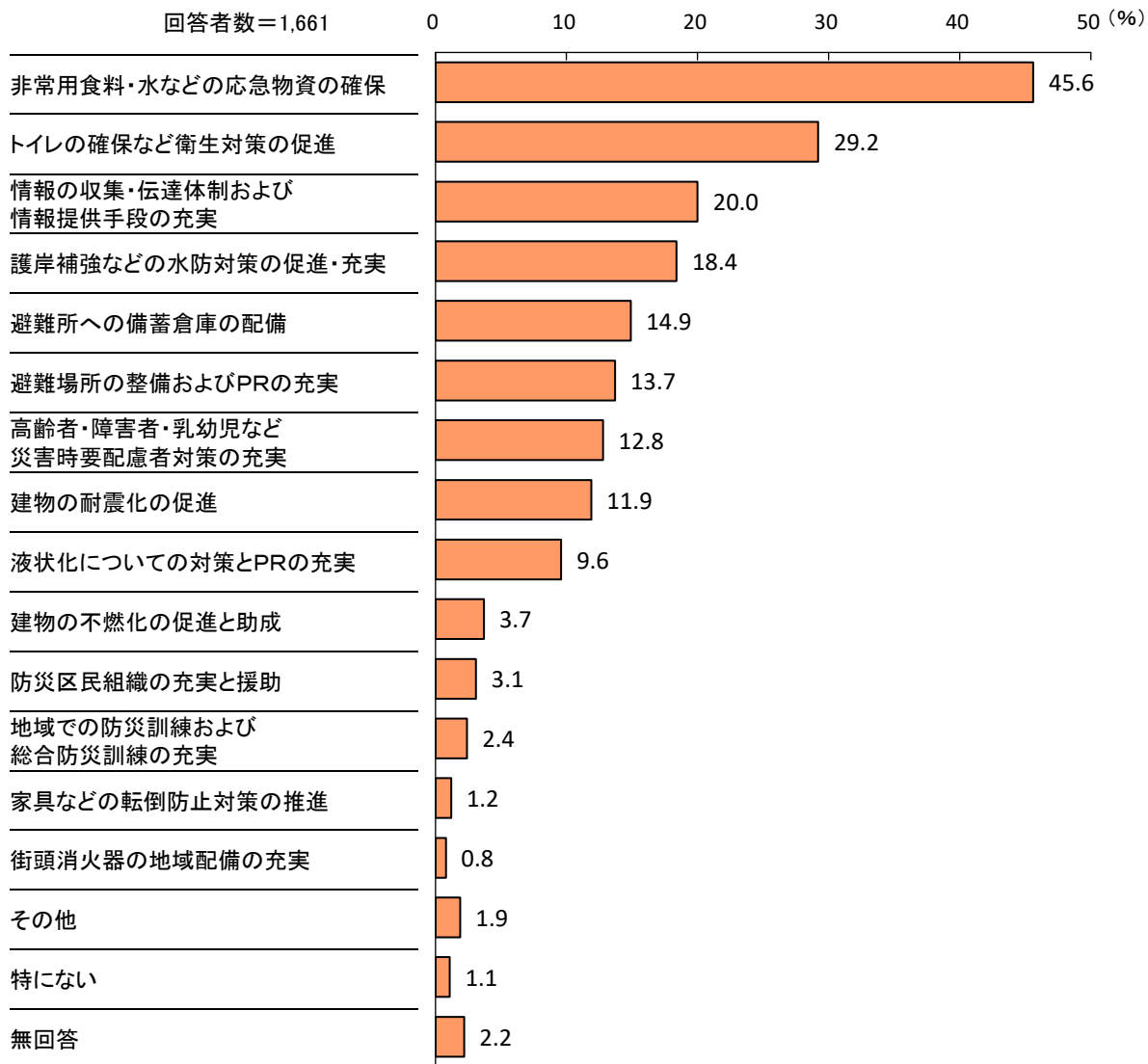


○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「飲料水」(68.6%)が7割近くで最も多く、次いで「ラジオ」(67.4%)、「照明器具(懐中電灯など)」(62.7%)と続いている。

(4) 防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」が4割台半ば

問6

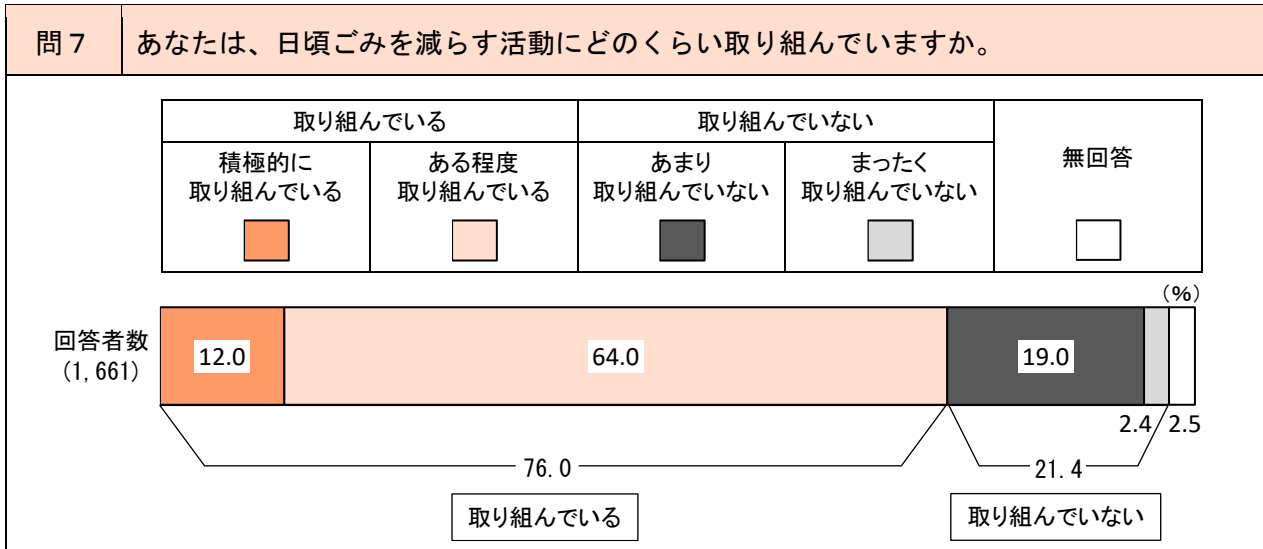
あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことは何ですか。
(複数回答) ※2つまで

○大地震の際の防災対策として特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(45.6%)が4割台半ばで最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」(29.2%)、「情報の収集・伝達体制および情報提供手段の充実」(20.0%)と続いている。

3 ごみ・リサイクル

(1) ごみを減らす活動の取り組み状況

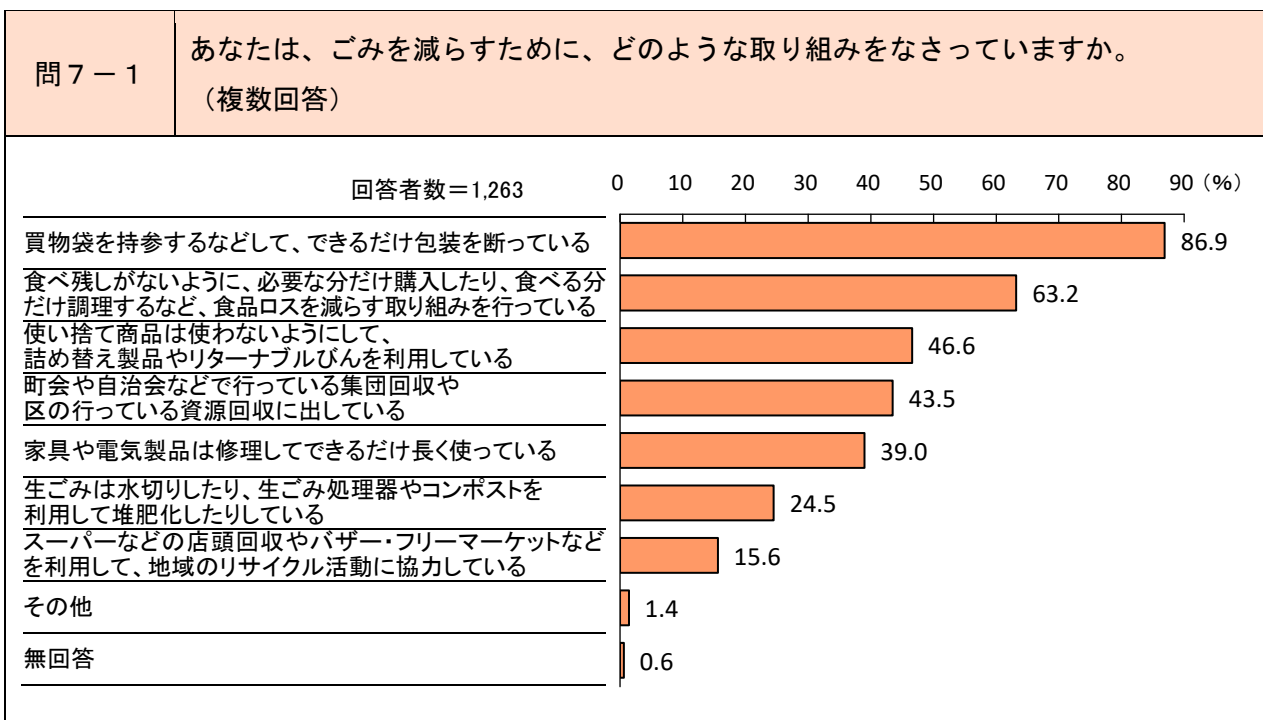
◇《取り組んでいる》は7割台半ば



○日頃ごみを減らす活動にどのくらい取り組んでいるか聞いたところ、「積極的に取り組んでいる」(12.0%)と「ある程度取り組んでいる」(64.0%)の2つを合わせた《取り組んでいる》(76.0%)は7割台半ばとなっている。

(2) ごみを減らすために行っている取り組み

◇「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が9割近く

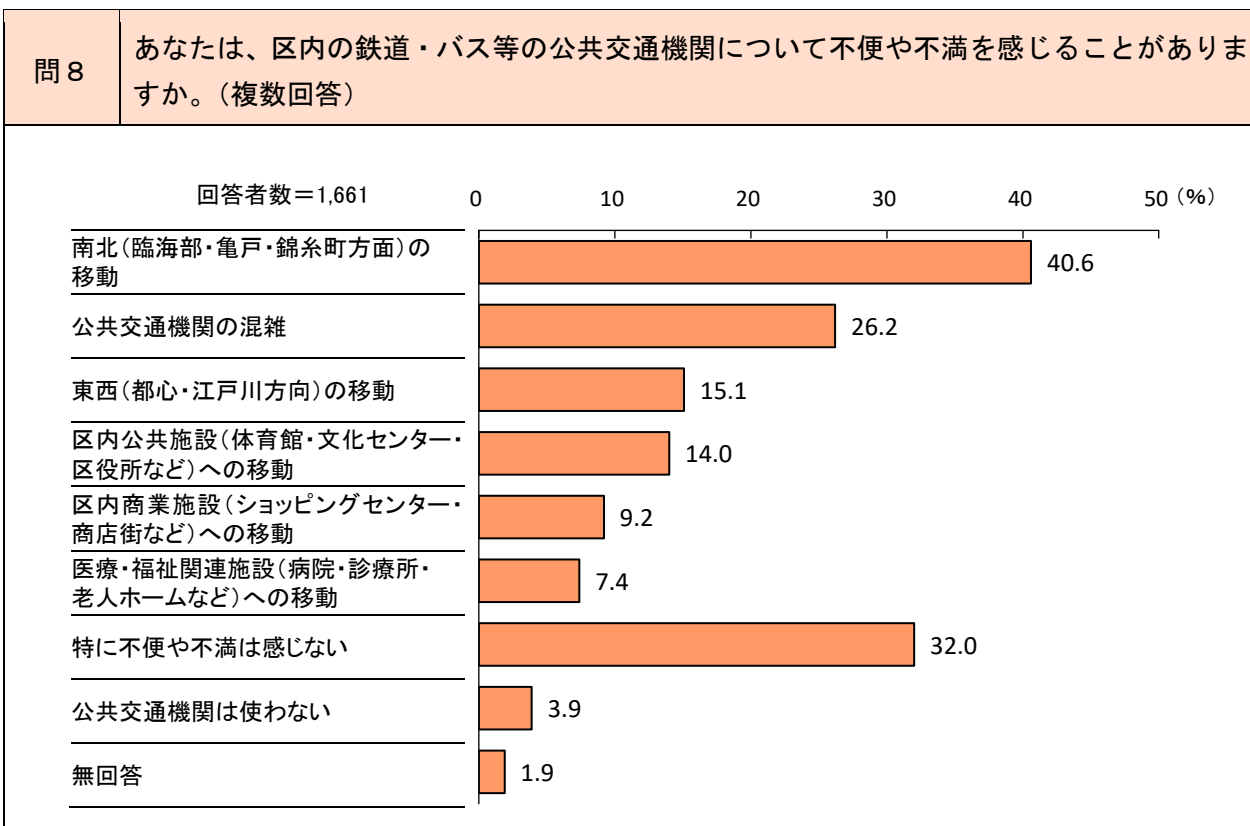


○ごみを減らす活動の取り組み内容を聞いたところ、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」(86.9%)が9割近くで最も多く、次いで「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」(63.2%)、「使い捨て商品は使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している」(46.6%)と続いている。

4 交通

(1) 区内の公共交通機関で不便や不満を感じること

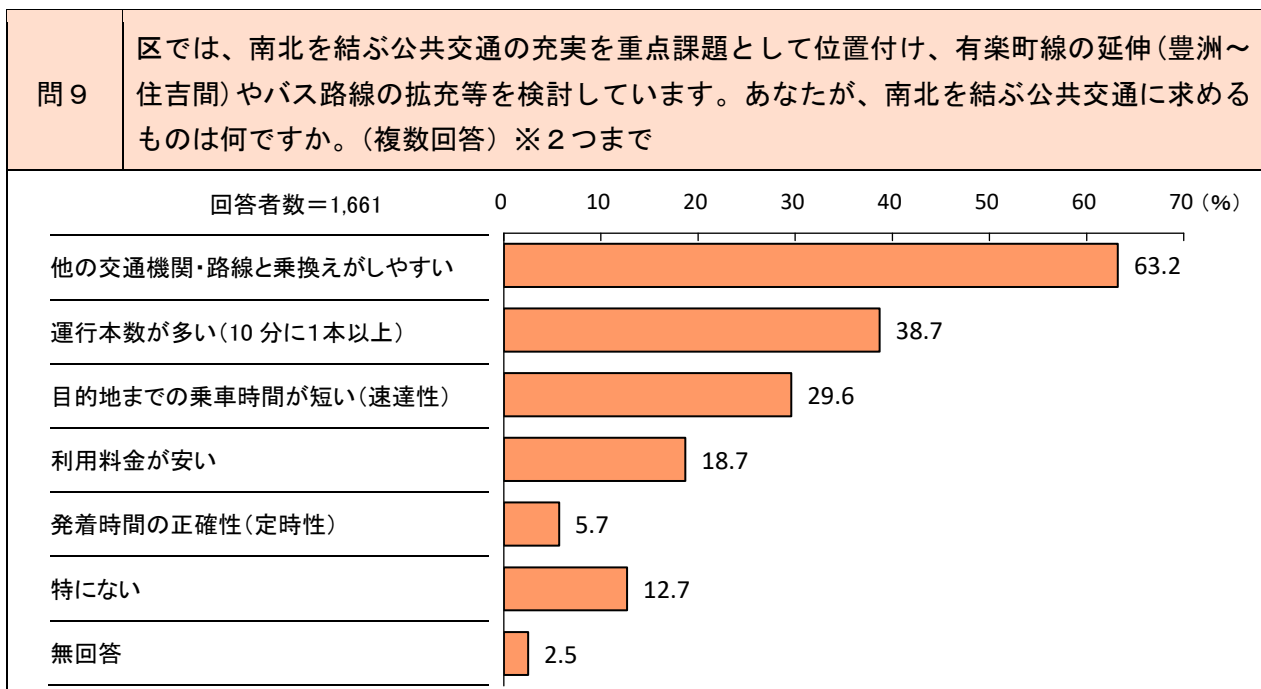
◇「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」がほぼ4割



○区内の鉄道・バス等の公共交通機関について不便や不満を感じることを聞いたところ、「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」（40.6%）がほぼ4割で最も多く、次いで「公共交通機関の混雑」（26.2%）、「東西（都心・江戸川方向）の移動」（15.1%）と続いている。一方、「特に不便や不満は感じない」（32.0%）は3割を超えている。

(2) 南北を結ぶ公共交通に求めるもの

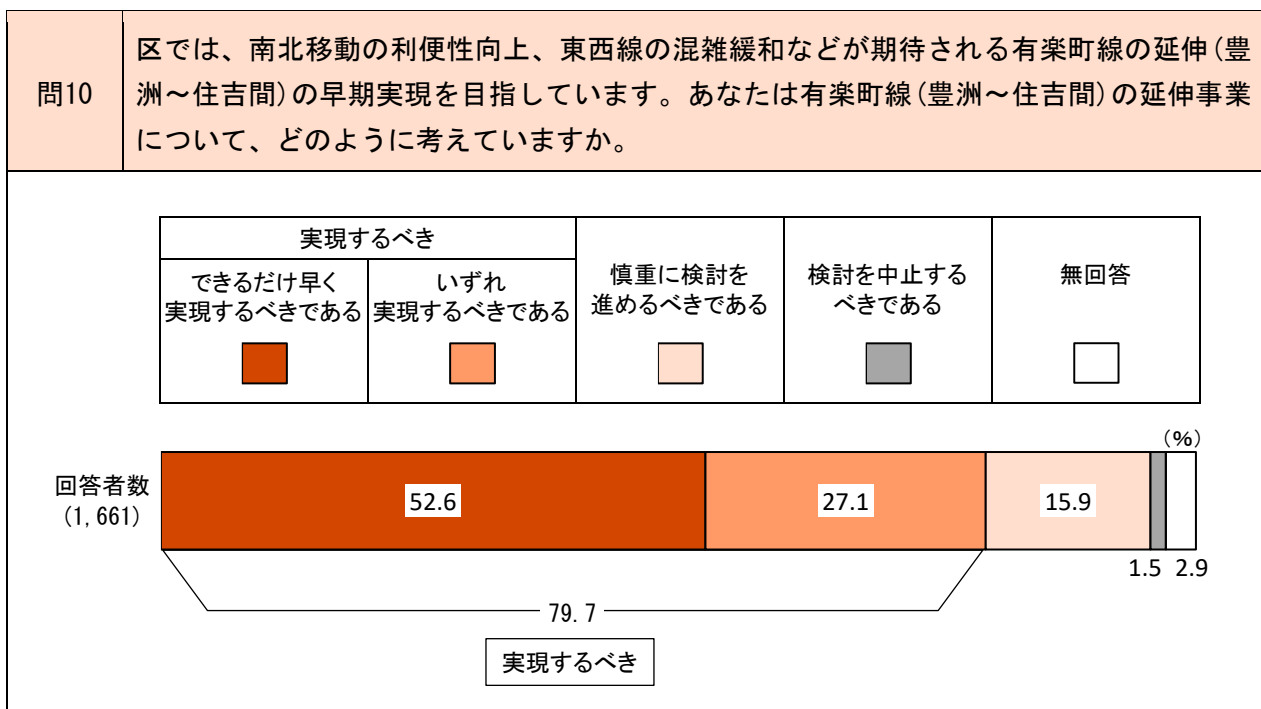
◇「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」が6割を超える



○南北を結ぶ公共交通に求めるものを聞いたところ、「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」(63.2%)が6割を超えて最も多く、次いで「運行本数が多い(10分に1本以上)」(38.7%)、「目的地までの乗車時間が短い(速達性)」(29.6%)と続いている。

(3) 有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考え

◇《実現すべき》は8割

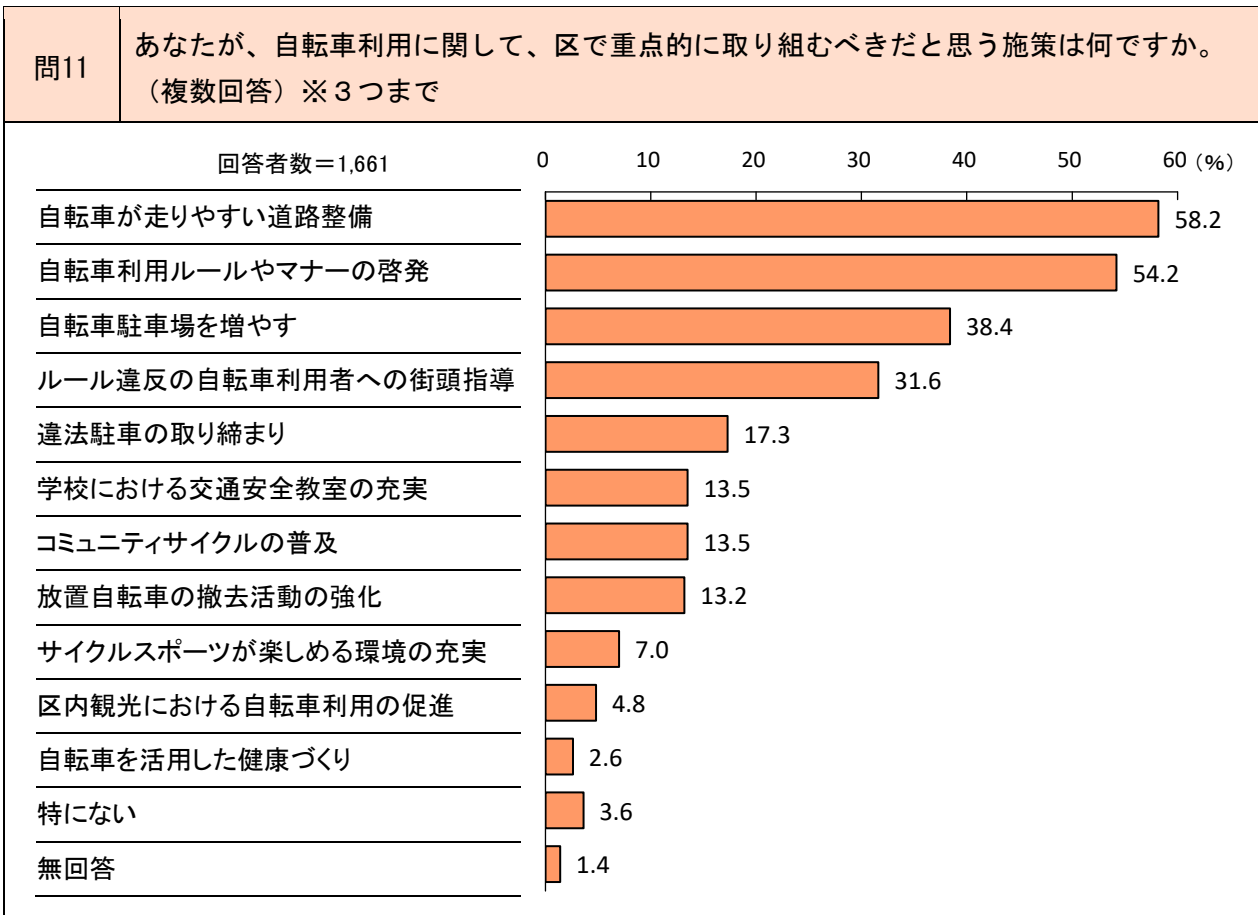


○有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考えを聞いたところ、「できるだけ早く実現すべきである」(52.6%)と「いずれ実現すべきである」(27.1%)の2つを合わせた《実現すべき》(79.7%)が8割となっている。また、「慎重に検討を進めるべきである」(15.9%)は1割台半ばとなっている。

(4) 自転車利用について区が取り組むべき施策

新規

◇「自転車が走りやすい道路整備」が6割近く

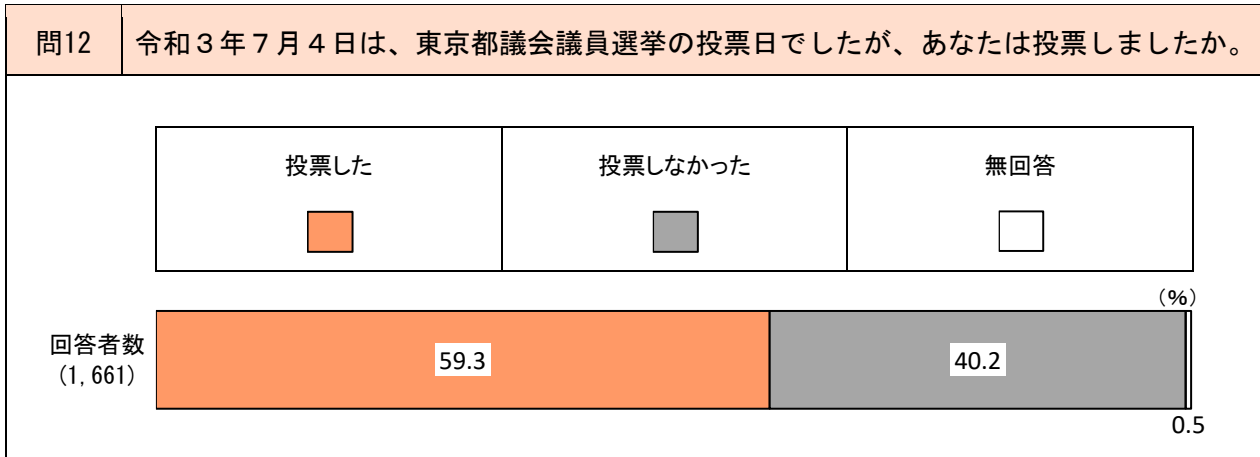


○自転車利用に関して区で重点的に取り組むべきだと思う施策について聞いたところ、「自転車が走りやすい道路整備」(58.2%)が6割近くで最も多く、次いで「自転車利用ルールやマナーの啓発」(54.2%)、「自転車駐車を増やす」(38.4%)と続いている。

5 選挙

(1) 東京都議会議員選挙の投票の有無

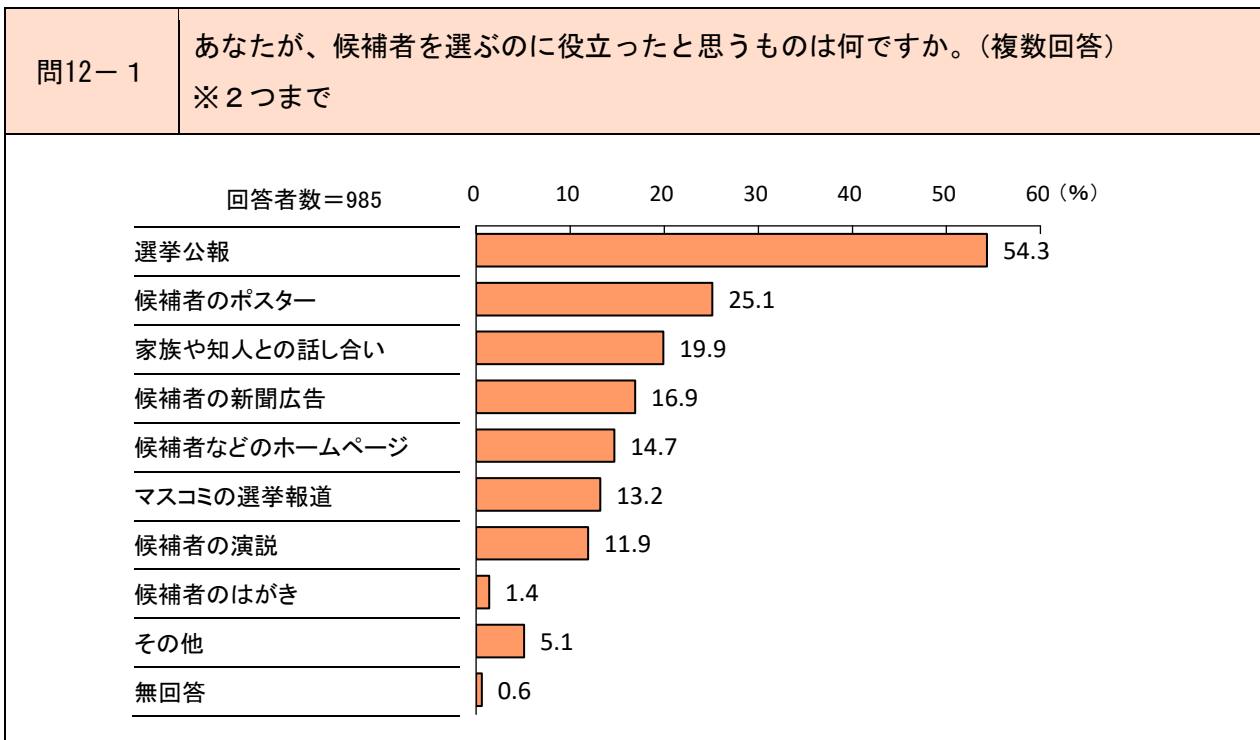
◇「投票した」がほぼ6割



○令和3年7月4日の東京都議会議員選挙に投票したかを聞いたところ、「投票した」(59.3%)はほぼ6割となっている。なお、実際の東京都議会議員選挙の江東区の投票率は43.89%であった。

(2) 候補者を選ぶのに役立ったと思うもの

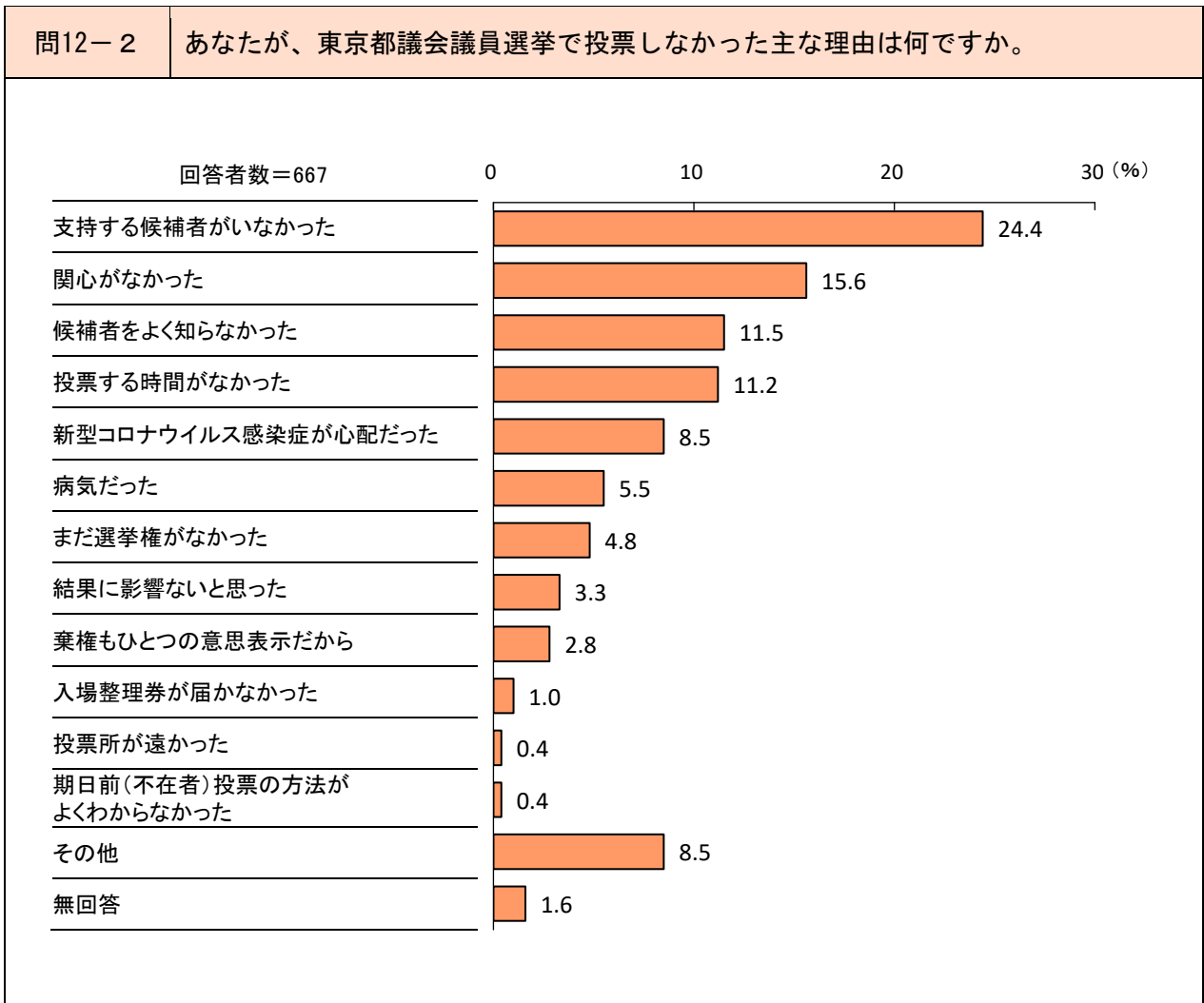
◇「選挙公報」が5割台半ば



○令和3年7月に行われた東京都議会議員選挙に「投票した」と答えた方(985人)に、候補者を選ぶのに役立ったと思うものは何か聞いたところ、「選挙公報」(54.3%)が5割台半ばで最も多く、次いで「候補者のポスター」(25.1%)、「家族や知人との話し合い」(19.9%)と続いている。

(3) 投票しなかった理由

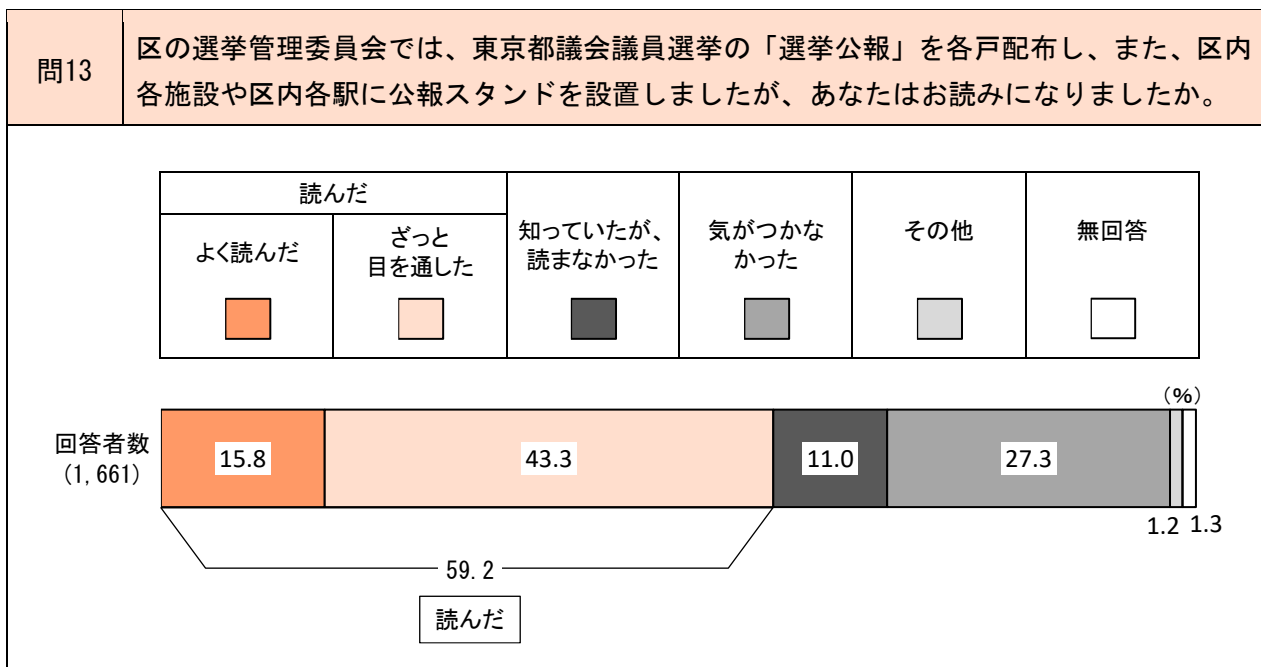
◇「支持する候補者がいなかった」が2割台半ば



○令和3年7月に行われた東京都議会議員選挙に「投票しなかった」と答えた方(667人)に、その理由を聞いたところ、「支持する候補者がいなかった」(24.4%)が2割台半ばで最も多く、次いで「関心がなかった」(15.6%)、「候補者をよく知らなかった」(11.5%)、「投票する時間がなかった」(11.2%)と続いている。

(4) 「選挙公報」の閲読状況

◇「読んだ」はほぼ6割

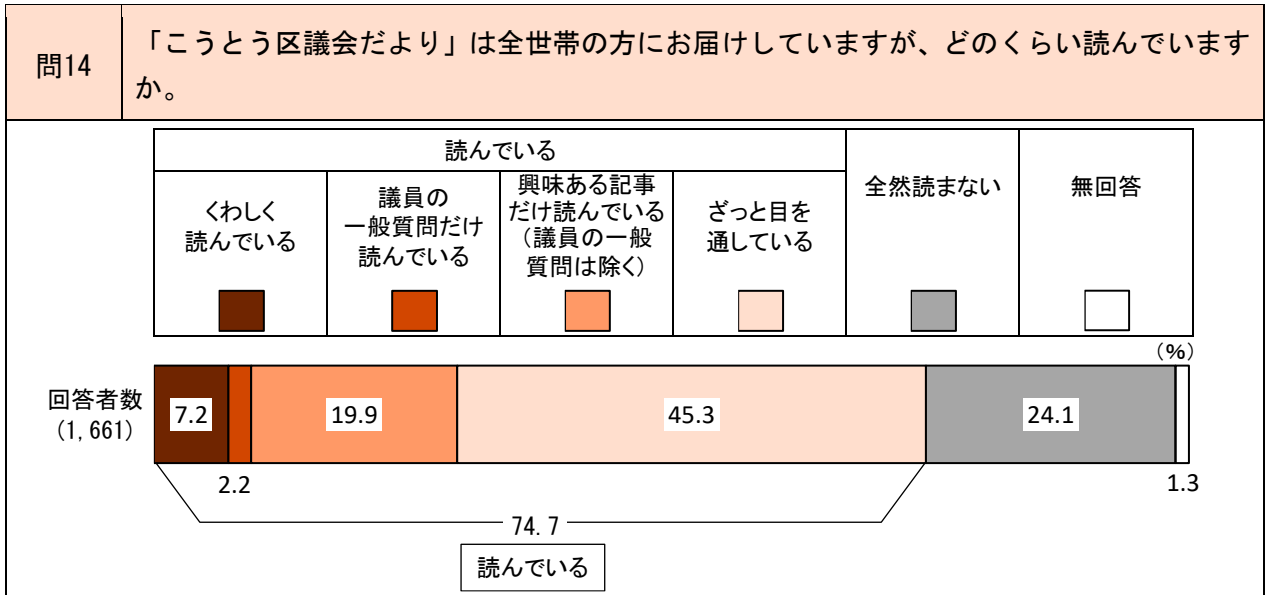


○東京都議会議員選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」(15.8%)と「ざっと目を通した」(43.3%)の2つを合わせた「読んだ」(59.2%)はほぼ6割となっている。一方、「知っていたが、読まなかった」(11.0%)は1割を超え、「気がつかなかった」(27.3%)は3割近くとなっている。

6 区議会

(1) 「こうとう区議会だより」の閲読状況

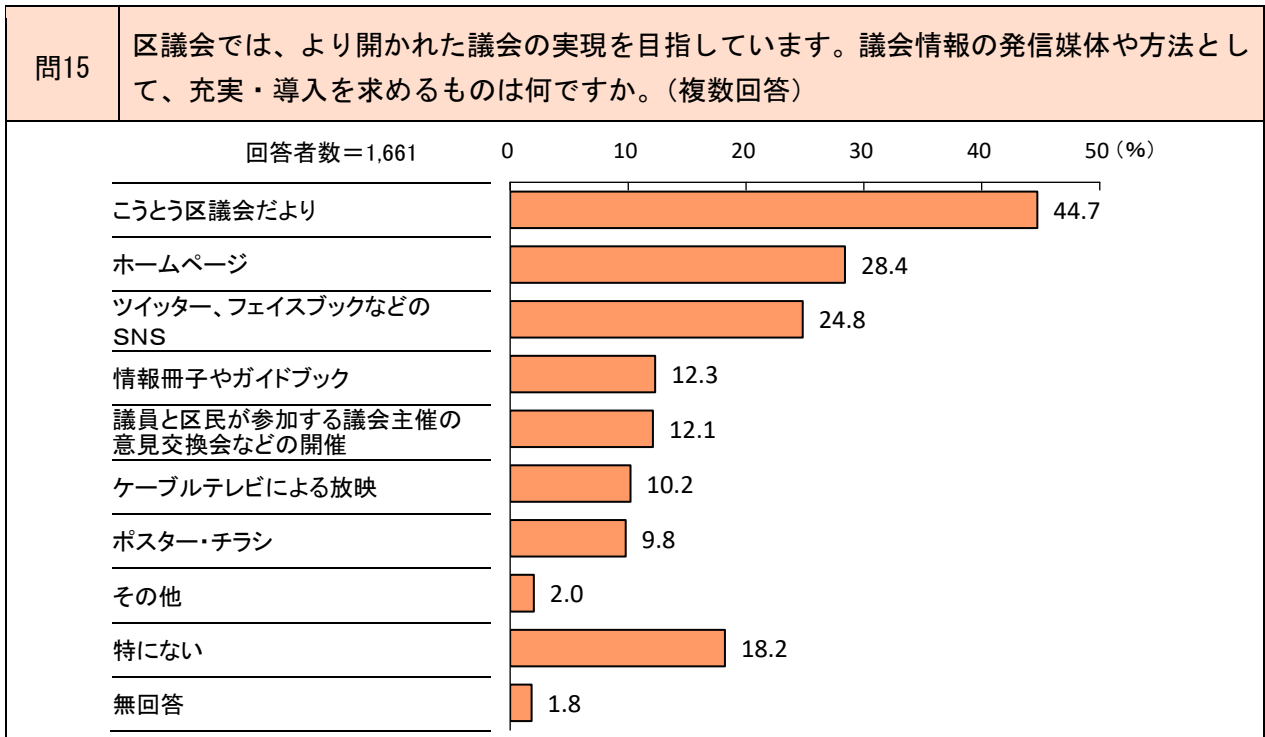
◇「読んでいます」は7割台半ば



○「こうとう区議会だより」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(7.2%)、「議員の一般質問だけ読んでいる」(2.2%)、「興味ある記事だけ読んでいる(議員の一般質問は除く)」(19.9%)、「ざっと目を通している」(45.3%)の4つを合わせた「読んでいます」(74.7%)が7割台半ばとなっている。

(2) 充実・導入してほしい議会情報の発信媒体

◇「こうとう区議会だより」が4割台半ば

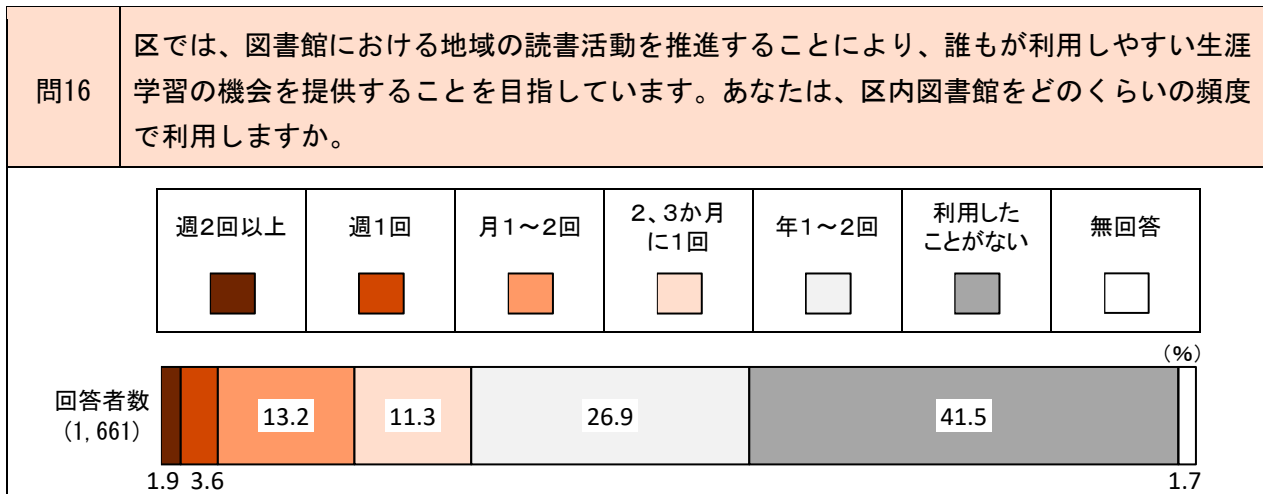


○充実・導入してほしい議会情報の発信媒体を聞いたところ、「こうとう区議会だより」(44.7%)が4割台半ばで最も多く、次いで「ホームページ」(28.4%)、「ツイッター、フェイスブックなどのSNS」(24.8%)と続いている。

7 図書館

(1) 区内図書館の利用頻度

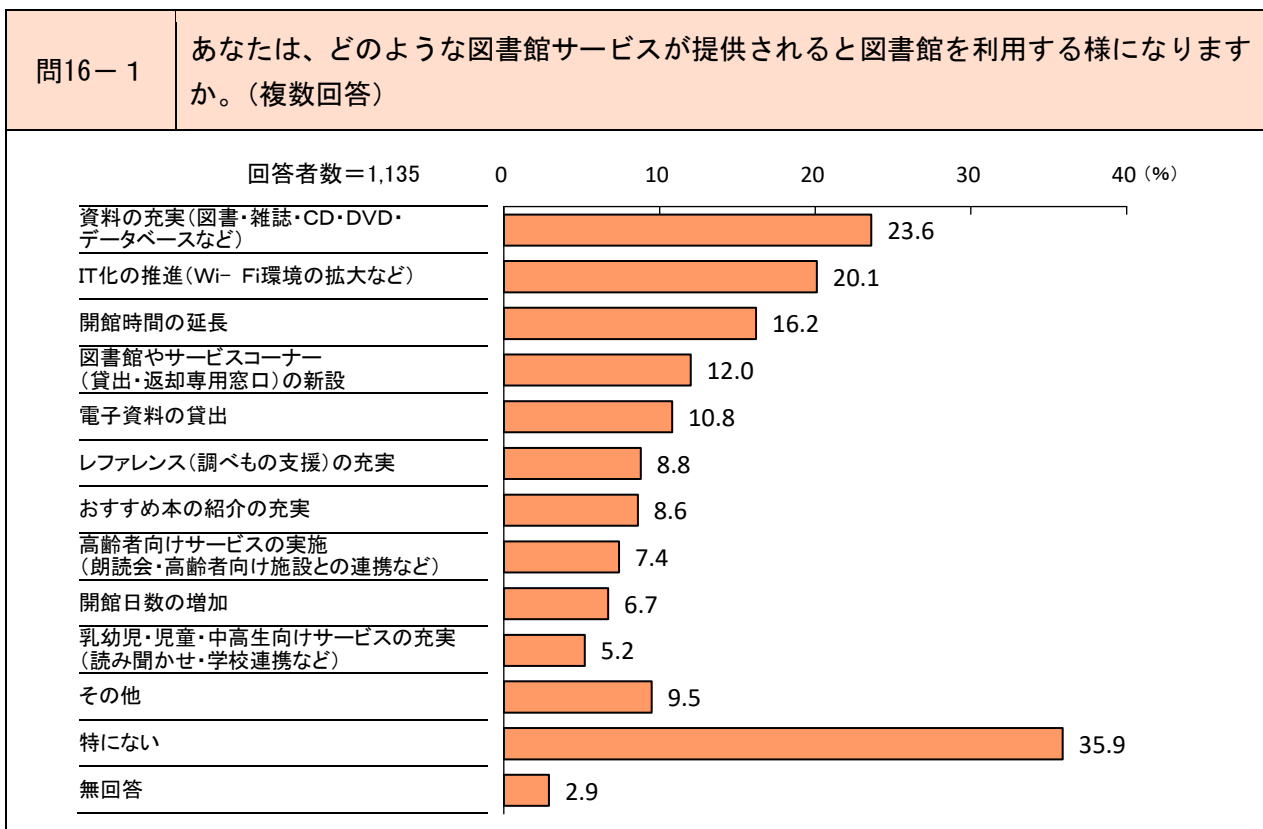
◇「年1～2回」が3割近く



○区内図書館の利用頻度を聞いたところ、「年1～2回」(26.9%)が3割近くとなっている。一方、「利用したことがない」(41.5%)は4割を超えている。

(2) 図書館サービスへの要望

◇「資料の充実(図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど)」が2割を超える

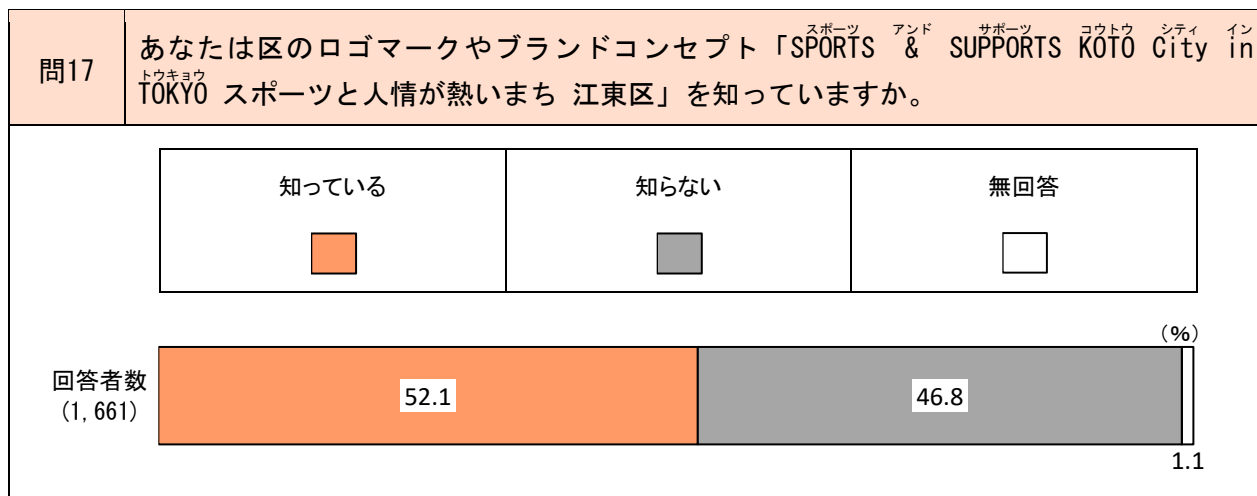


○区内図書館の利用頻度を、「年1～2回」か「利用したことがない」と答えた方(1,135人)に、どのようなサービスが提供されると図書館を利用するか聞いたところ、「資料の充実(図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど)」(23.6%)が2割を超えて最も多く、次いで「IT化の推進(Wi-Fi環境の拡大など)」(20.1%)、「開館時間の延長」(16.2%)と続いている。

8 江東区ブランディング戦略

(1) 区のロゴマークやブランドコンセプトの認知状況

◇「知っている」が5割を超える

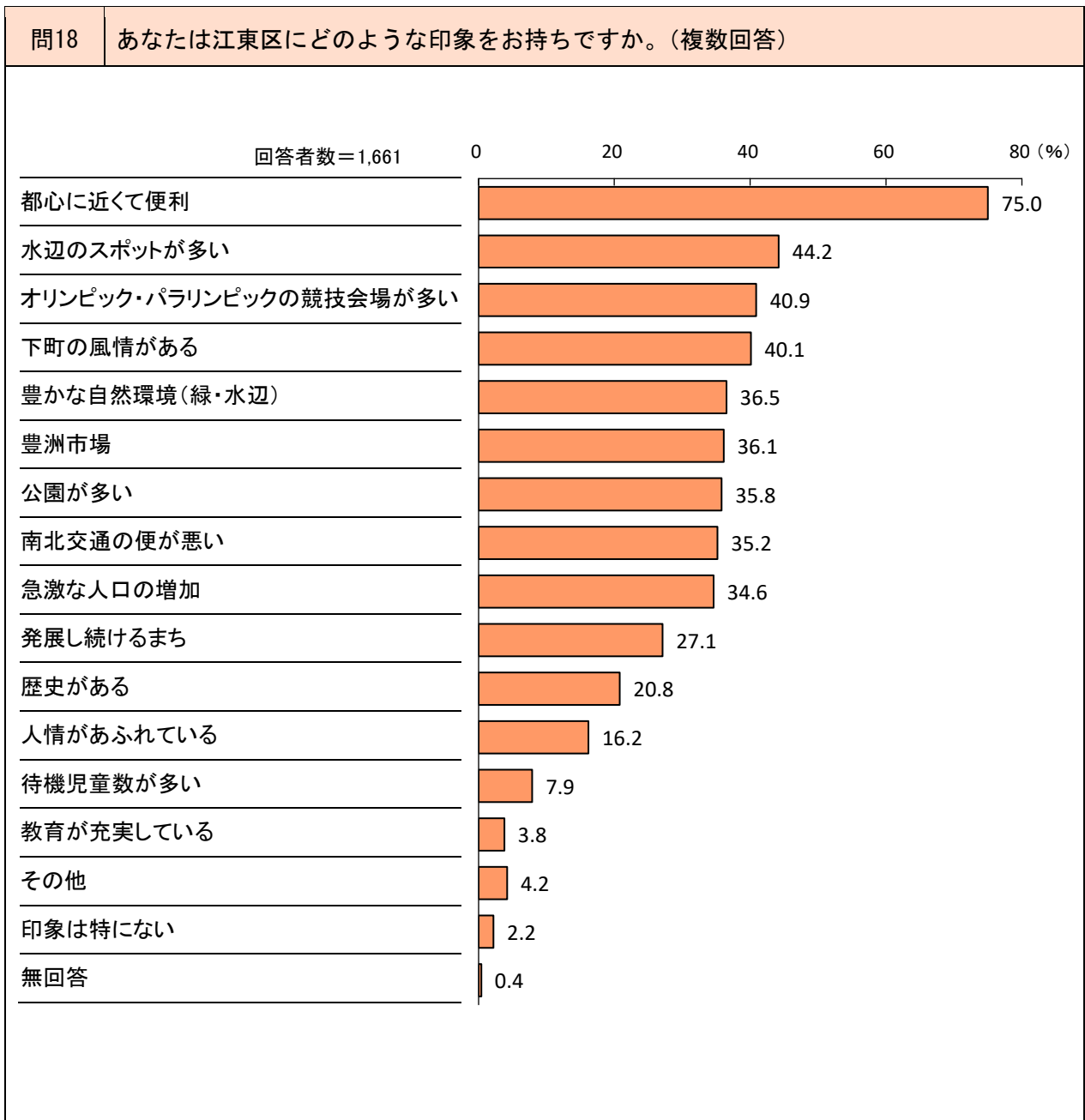


○区のロゴマークやブランドコンセプトを知っているか聞いたところ、「知っている」(52.1%)は5割を超え、「知らない」(46.8%)が5割近くとなっている。



(2) 区に持っている印象

◇「都心に近くて便利」が7割台半ば

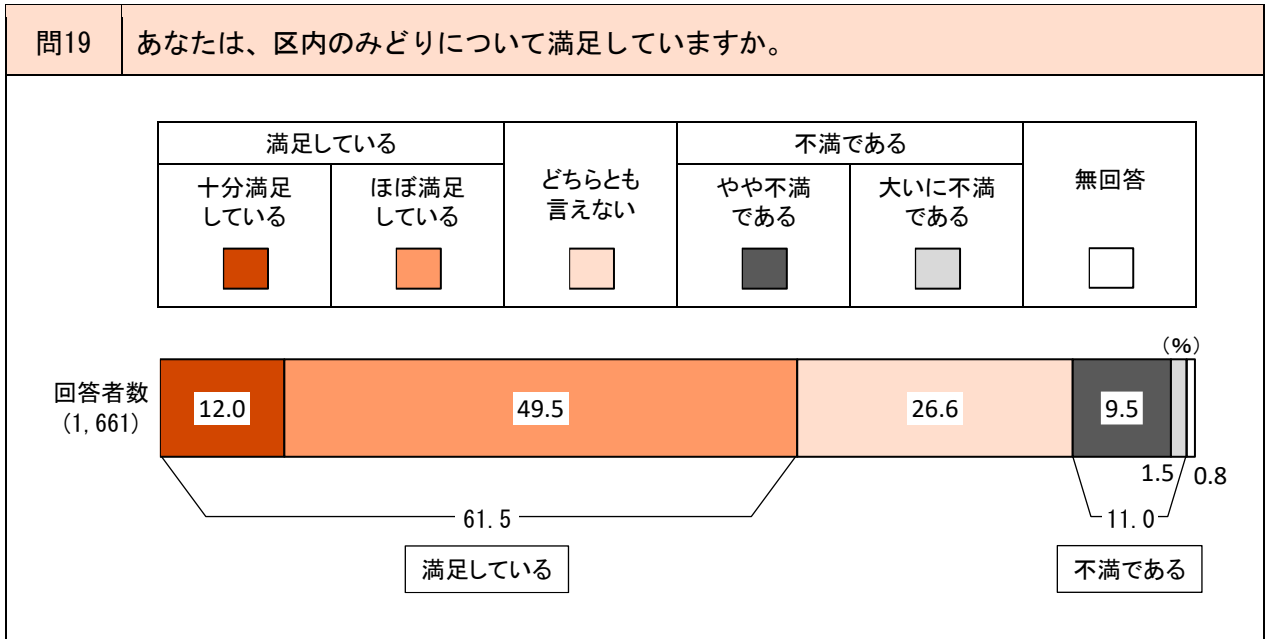


○江東区にどのような印象を持っているか聞いたところ、「都心に近くて便利」(75.0%)が7割台半ばで最も多く、次いで「水辺のスポットが多い」(44.2%)、「オリンピック・パラリンピックの競技会場が多い」(40.9%)、「下町の風情がある」(40.1%)と続いている。

9 緑化推進

(1) 区内のみどりの満足度

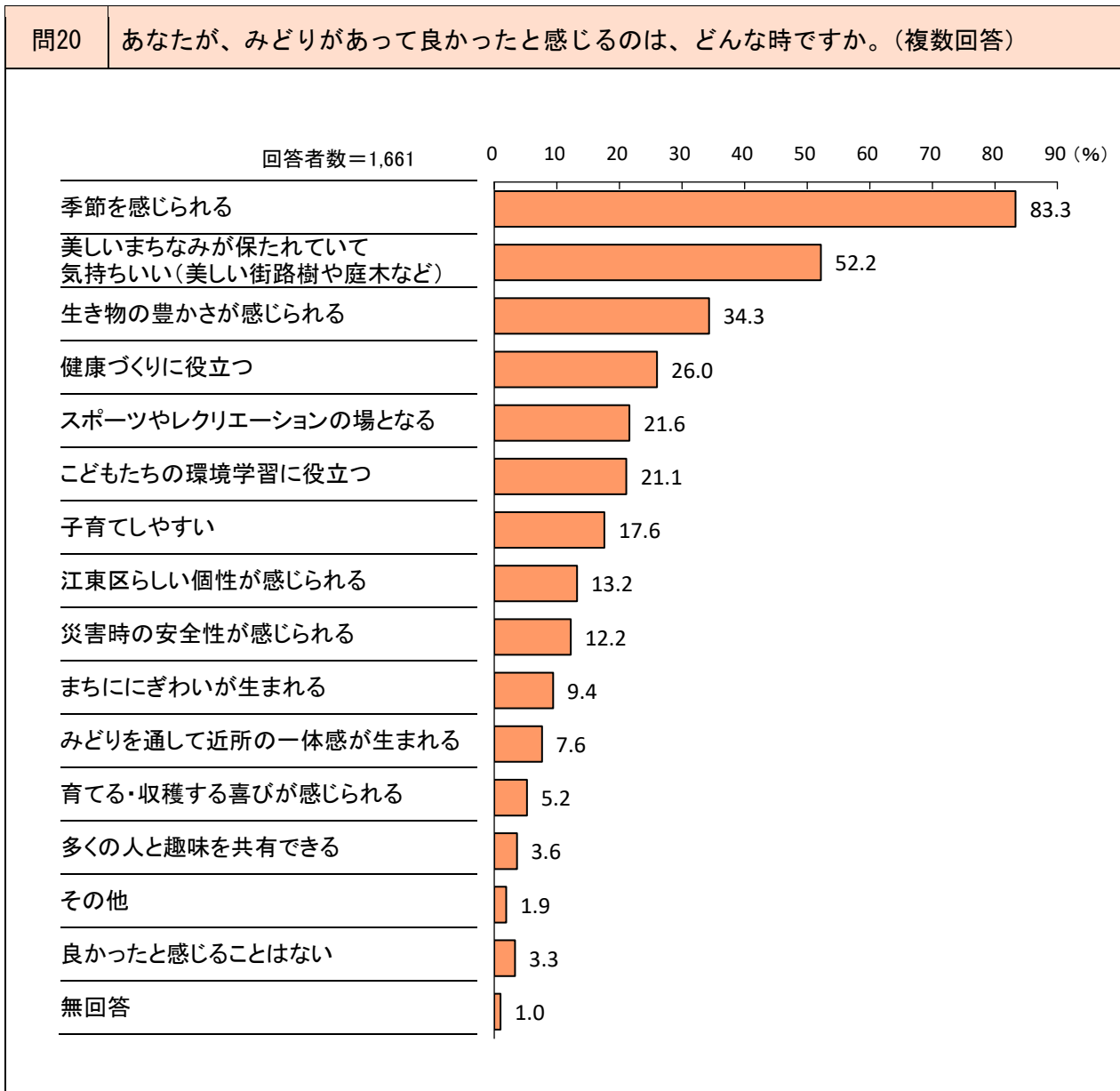
◇《満足している》が6割を超える



○区内のみどりについて満足しているか聞いたところ、「十分満足している」(12.0%)と「ほぼ満足している」(49.5%)の2つを合わせた《満足している》(61.5%)は6割を超えている。一方、「やや不満である」(9.5%)と「大いに不満である」(1.5%)の2つを合わせた《不満である》(11.0%)は1割を超えている。

(2) どんな時に、みどりがあって良かったと感じるか

◇「季節を感じられる」が8割を超える

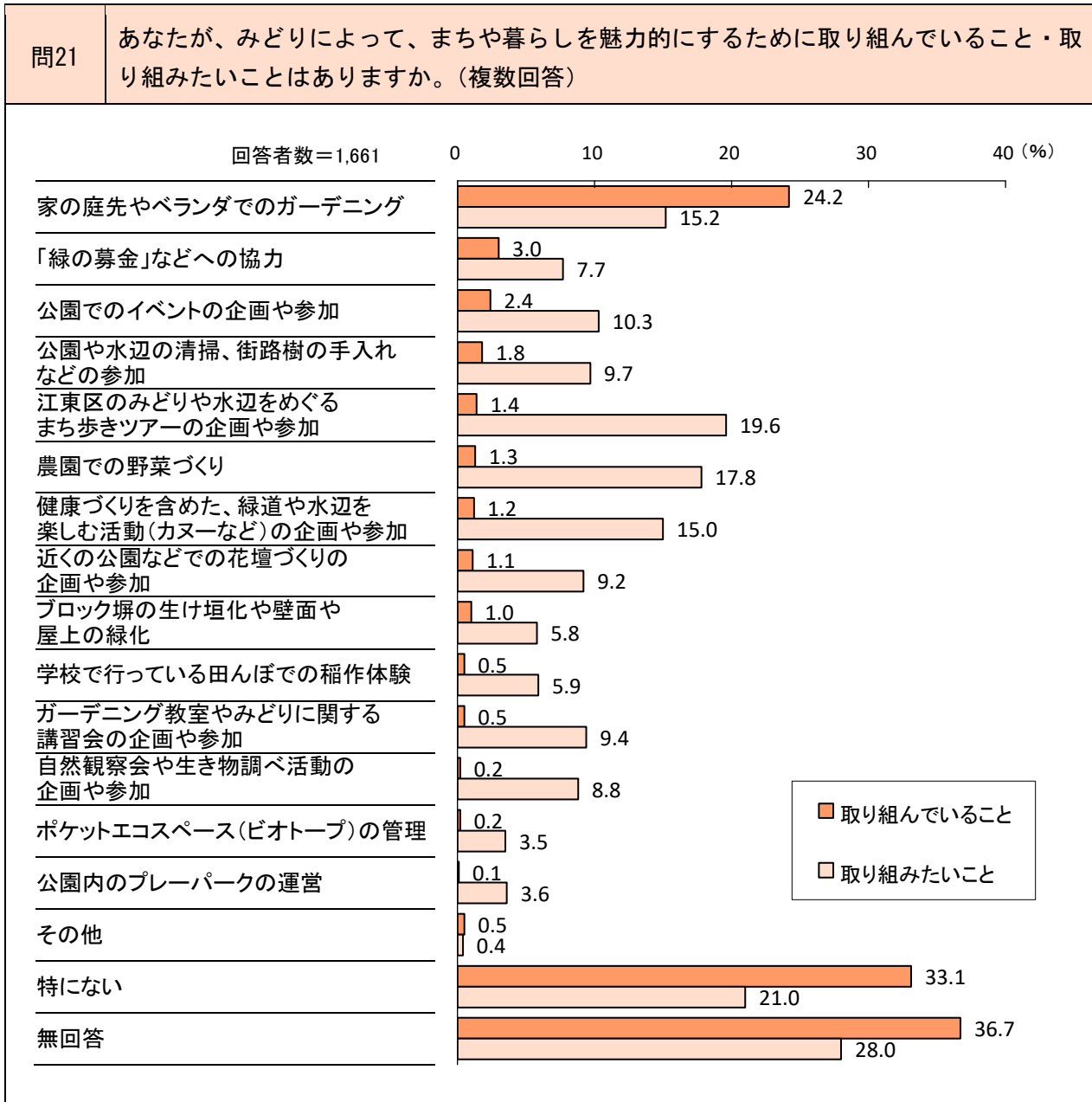


○みどりがあって良かったと感じるのは、どんな時か聞いたところ、「季節を感じられる」(83.3%)が8割を超えて最も多く、次いで「美しいまちなみが保たれていて気持ちいい(美しい街路樹や庭木など)」(52.2%)、「生き物の豊かさが感じられる」(34.3%)と続いている。

(3) 取り組んでいる、または今後取り組みたいと思うみどりに関する事業

◇取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」が2割台半ば

◇取り組みたいことでは、「江東区のみどりや水辺をめぐるまち歩きツアーの企画や参加」が2割



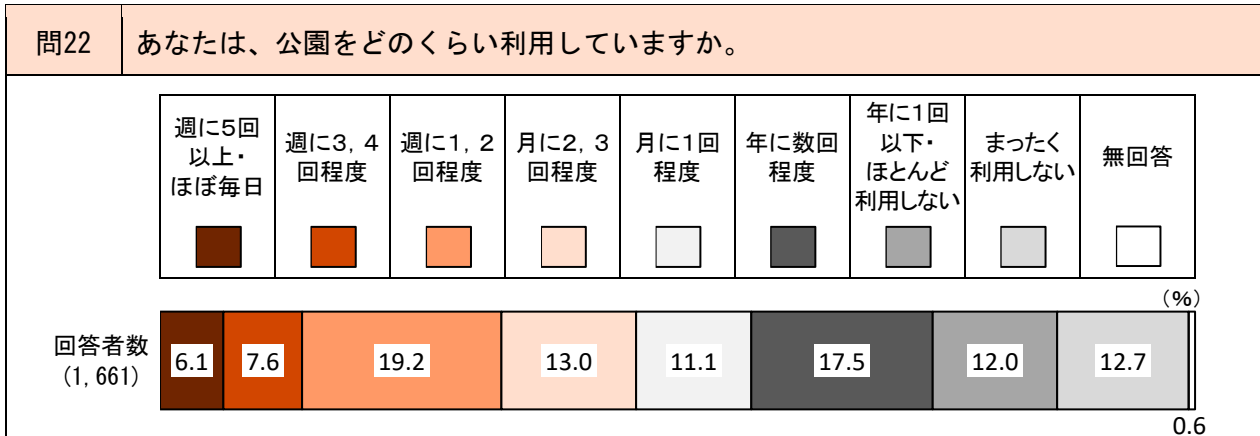
○みどりによって、まちや暮らしを魅力的にするために取り組んでいること・取り組みたいことはあるか聞いたところ、取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」(24.2%)が2割台半ばで最も多く、次いで『「緑の募金」などへの協力」(3.0%)、「公園でのイベントの企画や参加」(2.4%)と続いている。一方、取り組みたいことでは、「江東区のみどりや水辺をめぐるまち歩きツアーの企画や参加」(19.6%)が2割で最も多く、次いで「農園での野菜づくり」(17.8%)、「家の庭先やベランダでのガーデニング」(15.2%)、「健康づくりを含めた、緑道や水辺を楽しむ活動(カヌーなど)の企画や参加」(15.0%)と続いている。

10 公園

(1) 公園の利用頻度

新規

◇「週に1, 2回程度」がほぼ2割

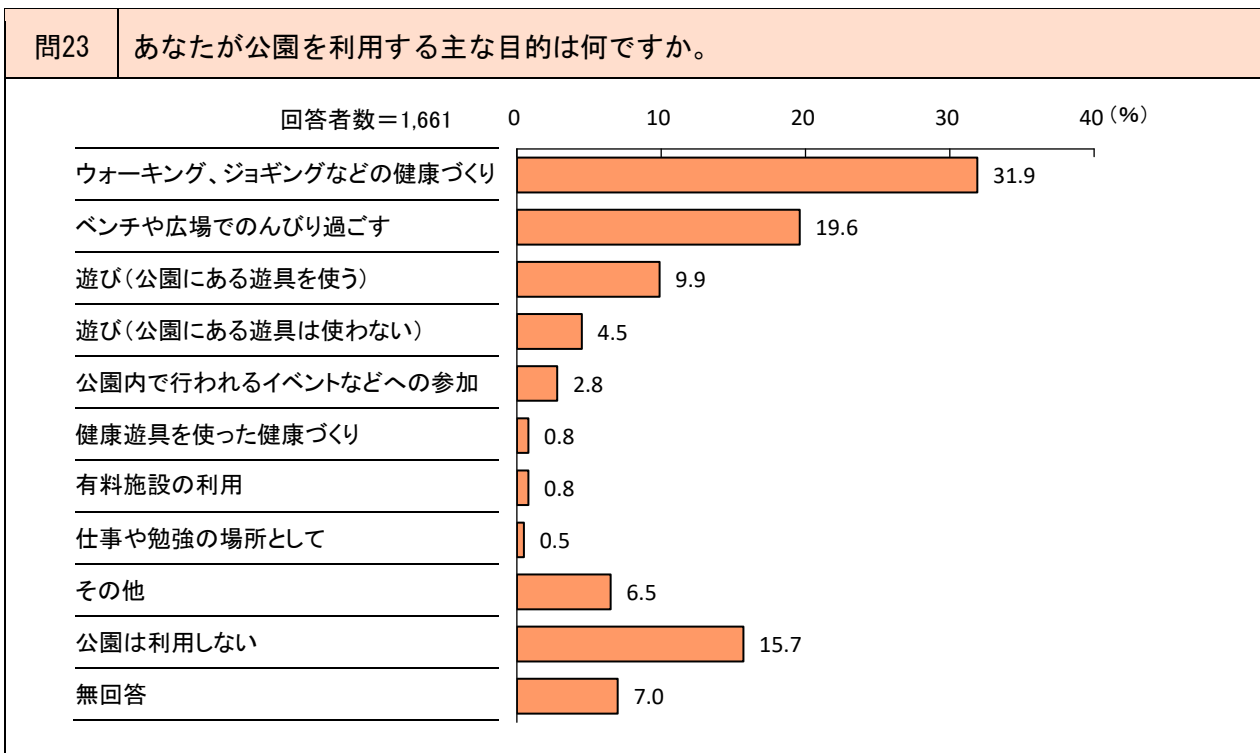


○公園の利用頻度を聞いたところ、「週に1, 2回程度」(19.2%)がほぼ2割で最も多く、「週に5回以上・ほぼ毎日」～「週に1, 2回程度」を合わせると3割を超えている。

(2) 公園を利用する主な目的

新規

◇「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり」が3割を超える

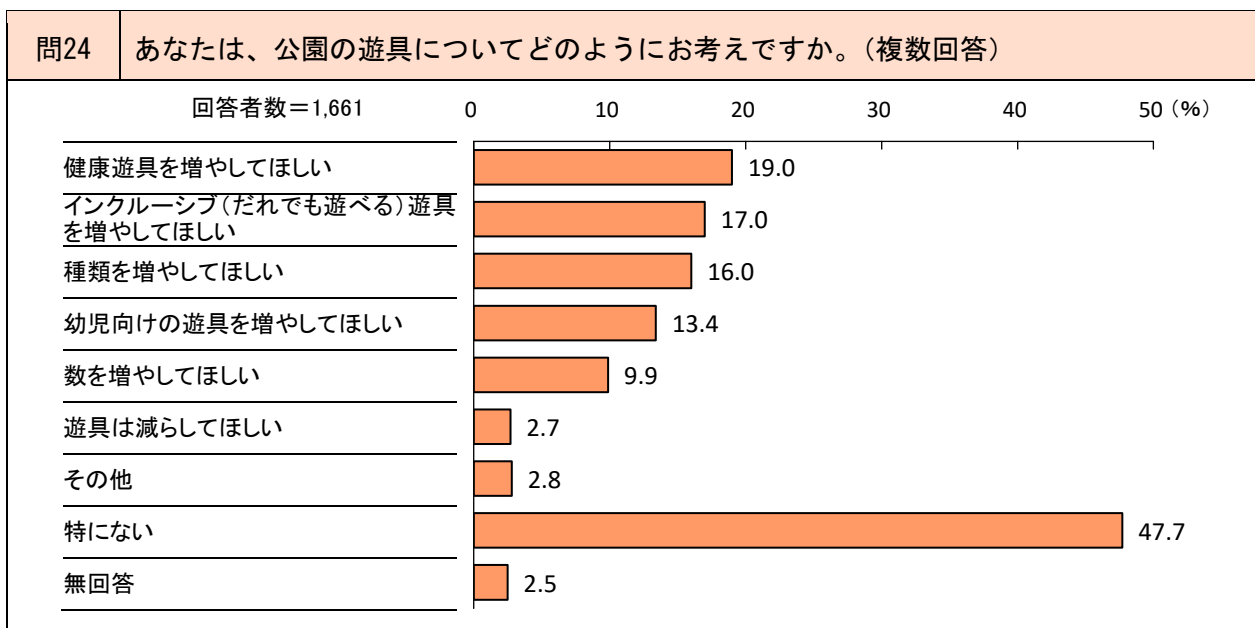


○公園を利用する主な目的を聞いたところ、「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり」(31.9%)が3割を超えて最も多く、次いで「ベンチや広場でのんびり過ごす」(19.6%)、「遊び(公園にある遊具を使う)」(9.9%)と続いている。

(3) 公園の遊具についての考え

新規

◇「健康遊具を増やしてほしい」がほぼ2割

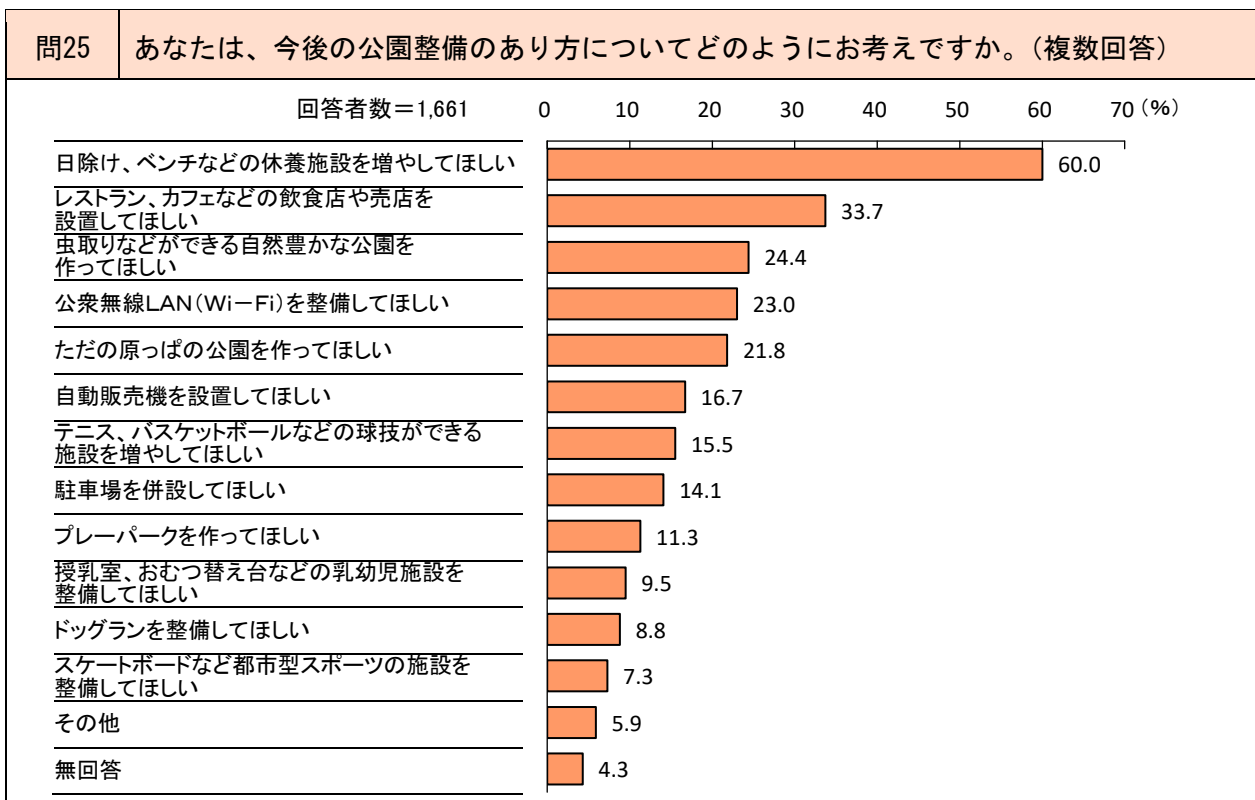


○公園の遊具について聞いたところ、「健康遊具を増やしてほしい」(19.0%)がほぼ2割で最も多く、次いで「インクルーシブ(だれでも遊べる)遊具を増やしてほしい」(17.0%)、「種類を増やしてほしい」(16.0%)と続いている。

(4) 公園整備のあり方についての考え

新規

◇「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」が6割

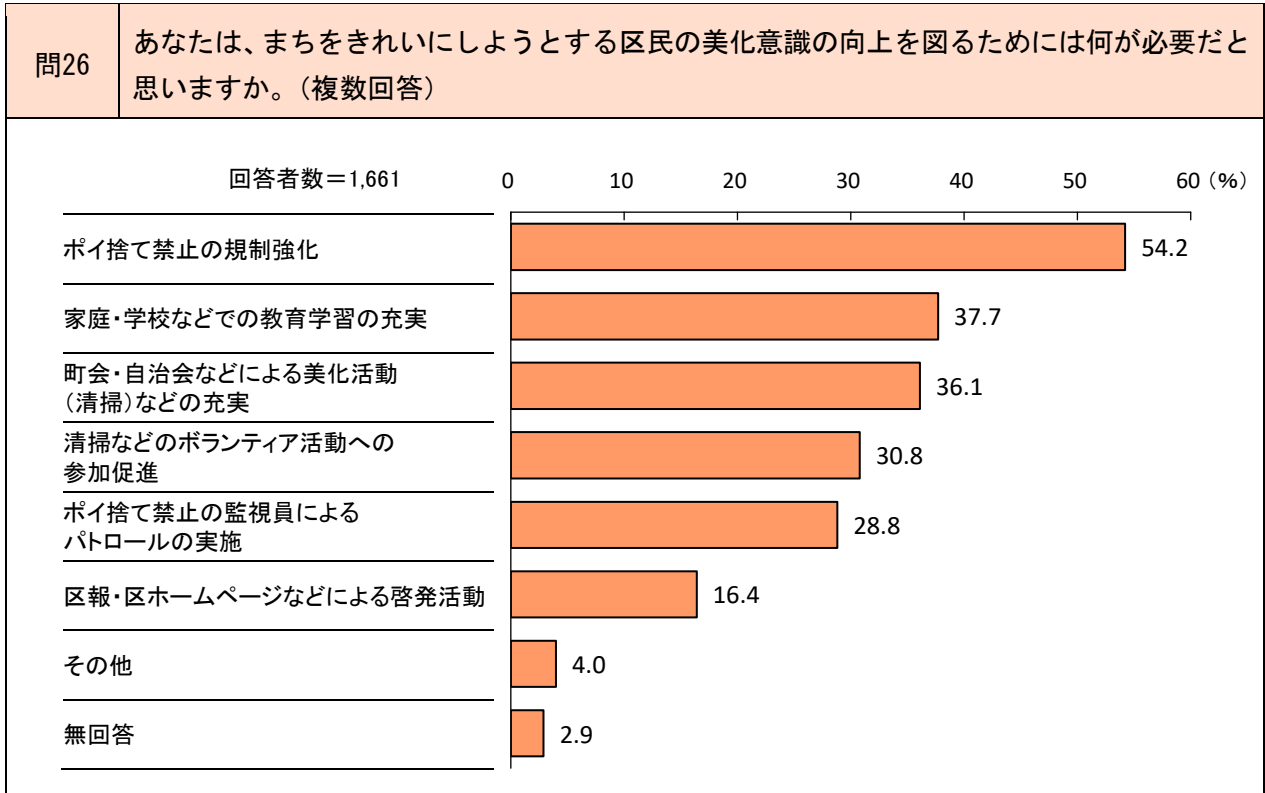


○今後の公園整備のあり方について聞いたところ、「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」(60.0%)が6割で最も多く、次いで「レストラン、カフェなどの飲食店や売店を設置してほしい」(33.7%)、「虫取りなどができる自然豊かな公園を作してほしい」(24.4%)と続いている。

11 環境美化

(1) 区民の環境美化意識の向上を図るために必要だと思うもの

◇「ポイ捨て禁止の規制強化」が5割台半ば

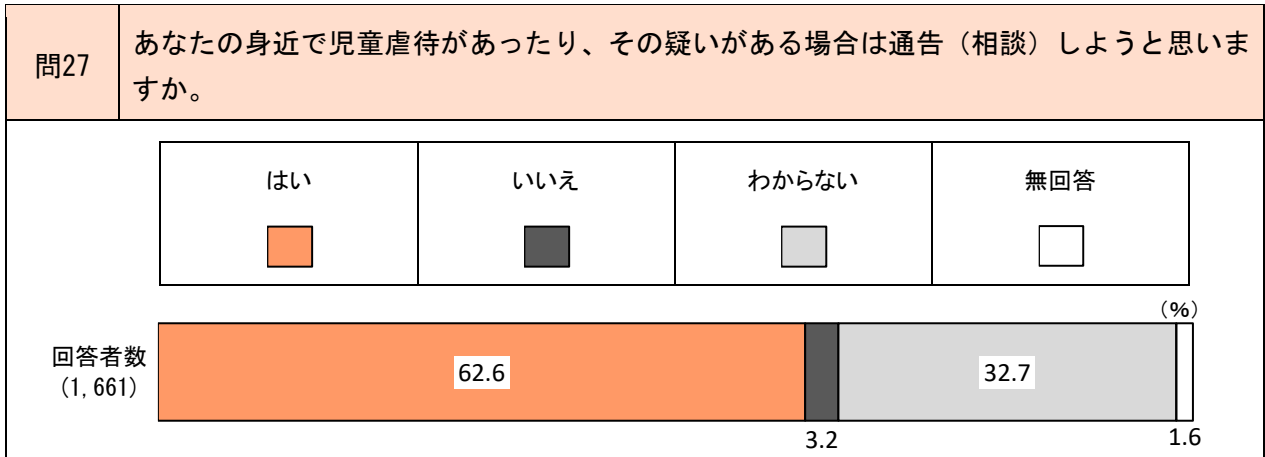


○区民の美化意識の向上を図るためには何が必要か聞いたところ、「ポイ捨て禁止の規制強化」(54.2%)が5割台半ばで最も多く、次いで「家庭・学校などでの教育学習の充実」(37.7%)、「町会・自治会などによる美化活動(清掃)などの充実」(36.1%)と続いている。

12 児童虐待

(1) 身近で児童虐待があった場合の通告（相談）の有無

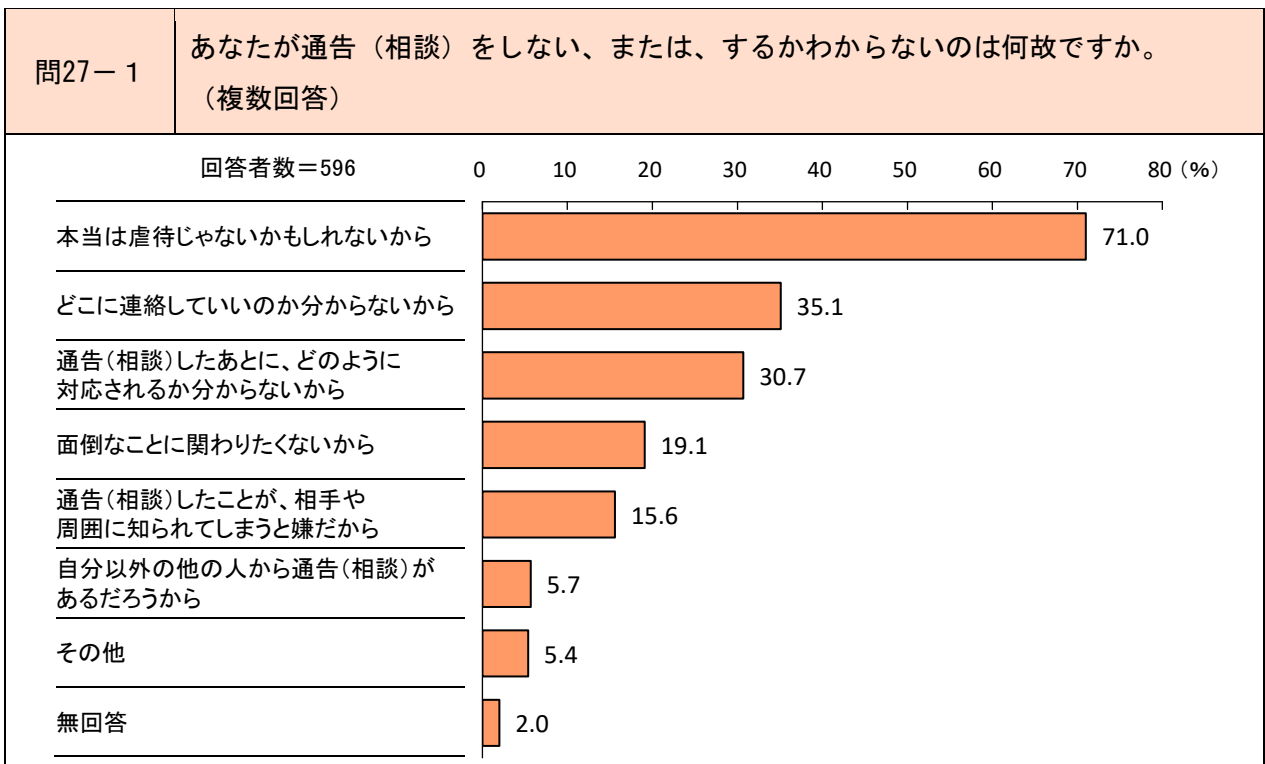
◇「通告（相談）する」が6割を超える



○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合は通告（相談）するか聞いたところ、「はい」（62.6%）が6割を超え、「いいえ」（3.2%）はわずかとなっている。また、「わからない」（32.7%）は3割を超えている。

(2) 通告（相談）をしない、または、するかわからない理由

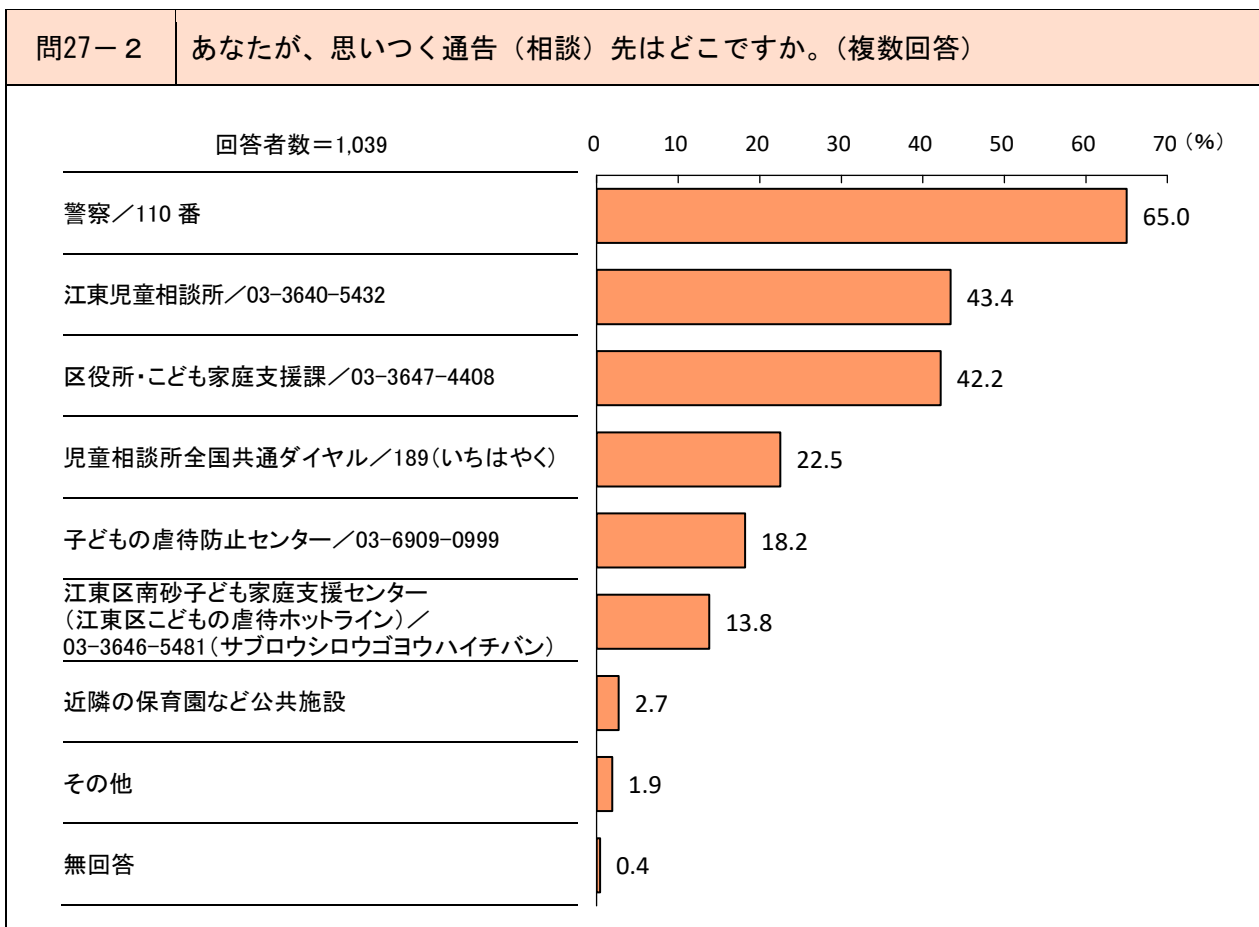
◇「本当は虐待じゃないかもしれないから」が7割を超える



○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合に、通告（相談）をしない、または、するかわからないと答えた方（596人）に、その理由を聞いたところ、「本当は虐待じゃないかもしれないから」（71.0%）が7割を超えて最も多く、次いで「どこに連絡していいのかわからないから」（35.1%）、「通告（相談）したあとに、どのように対応されるかわからないから」（30.7%）と続いている。

(3) 思いつく通告（相談）先

◇「警察／110 番」が6割台半ば

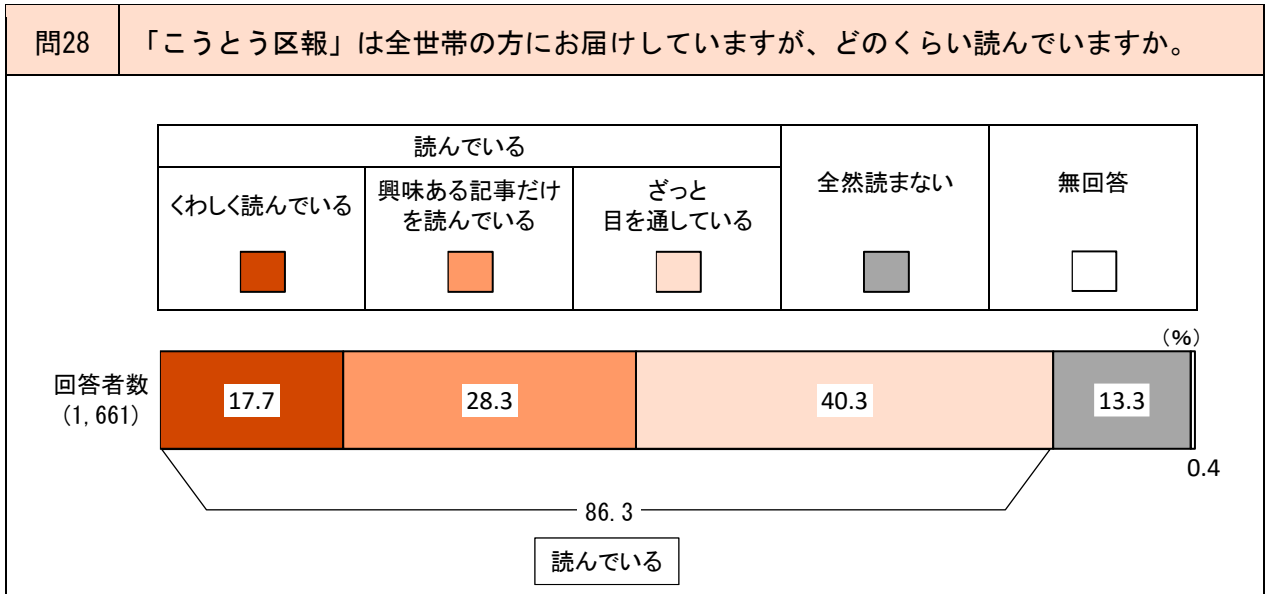


○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合に、通告（相談）をすると答えた方（1,039人）に、思いつく通告先を聞いたところ、「警察／110 番」（65.0%）が6割台半ばで最も多く、次いで「江東児童相談所／03-3640-5432」（43.4%）、「区役所・こども家庭支援課／03-3647-4408」（42.2%）と続いている。

13 広 報

(1) 「こうとう区報」の閲読状況

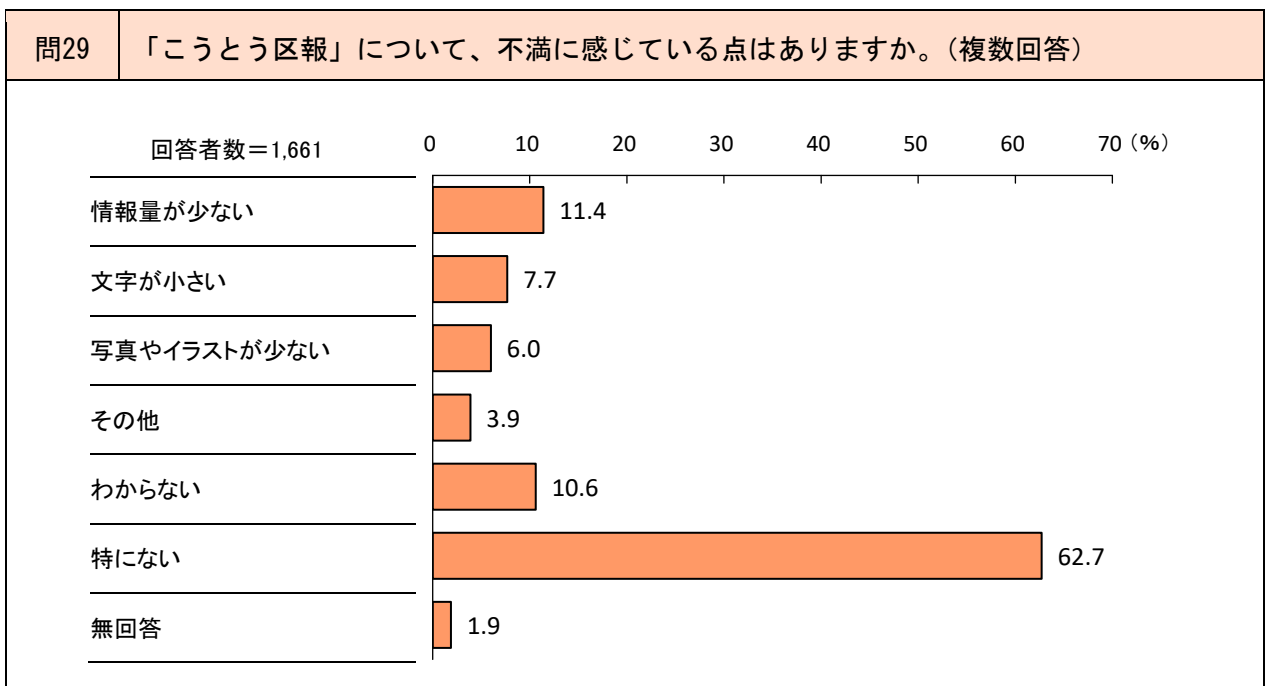
◇「読んでいます」は8割台半ば



○「こうとう区報」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んでいます」(17.7%)、「興味ある記事だけを読んでます」(28.3%)、「ざっと目を通しています」(40.3%)の3つを合わせた「読んでいます」(86.3%)が8割台半ばとなっている。

(2) 「こうとう区報」について、不満に感じている点

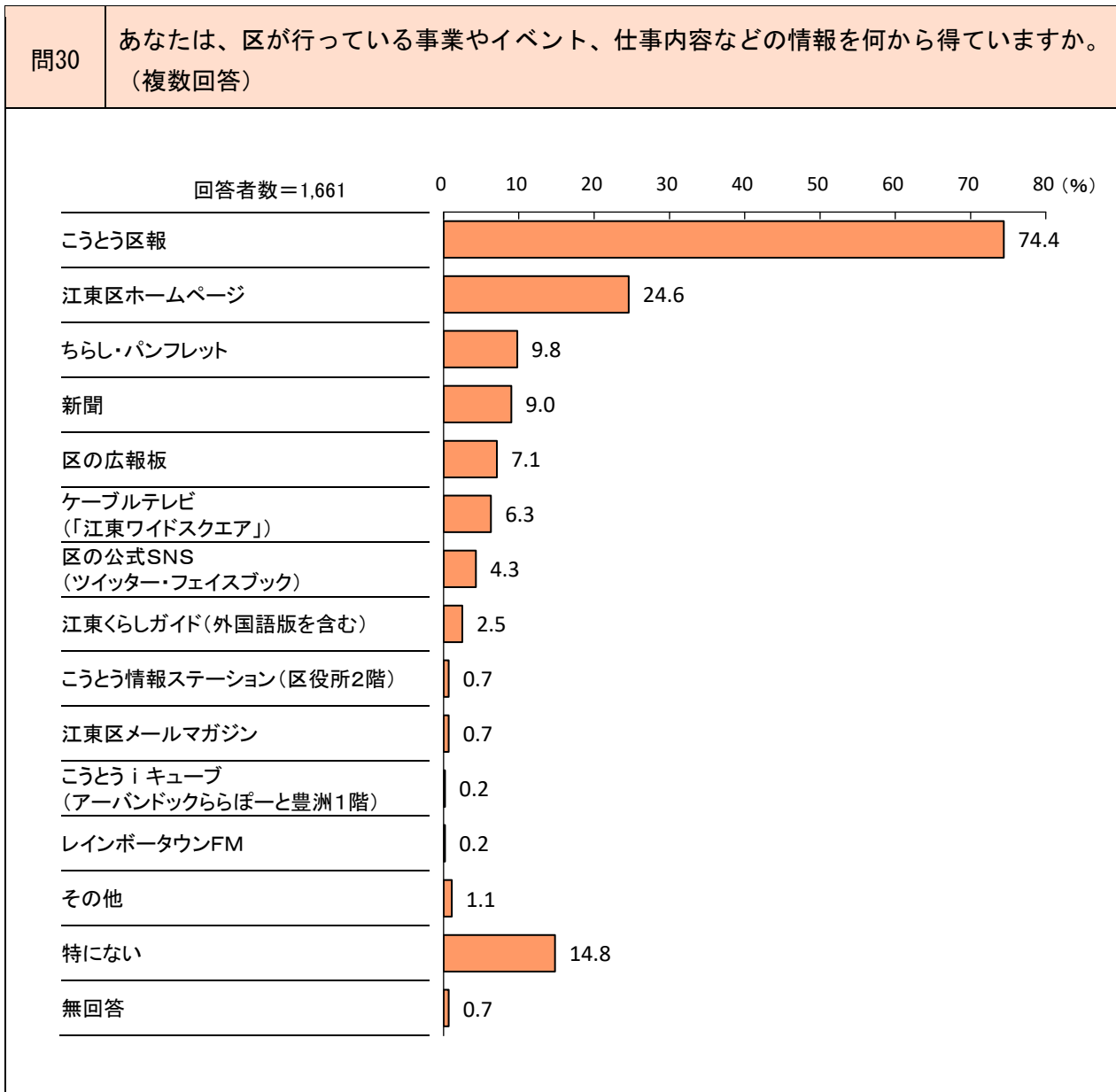
◇「情報量が少ない」が1割を超える



○「こうとう区報」について、不満に感じている点を聞いたところ、不満点としては、「情報量が少ない」(11.4%)が1割を超えて最も多く、次いで「文字が小さい」(7.7%)、「写真やイラストが少ない」(6.0%)と続いている。一方、「特にない」(62.7%)は6割を超えている。

(3) 区が行っている事業やイベント、仕事内容などの認知媒体

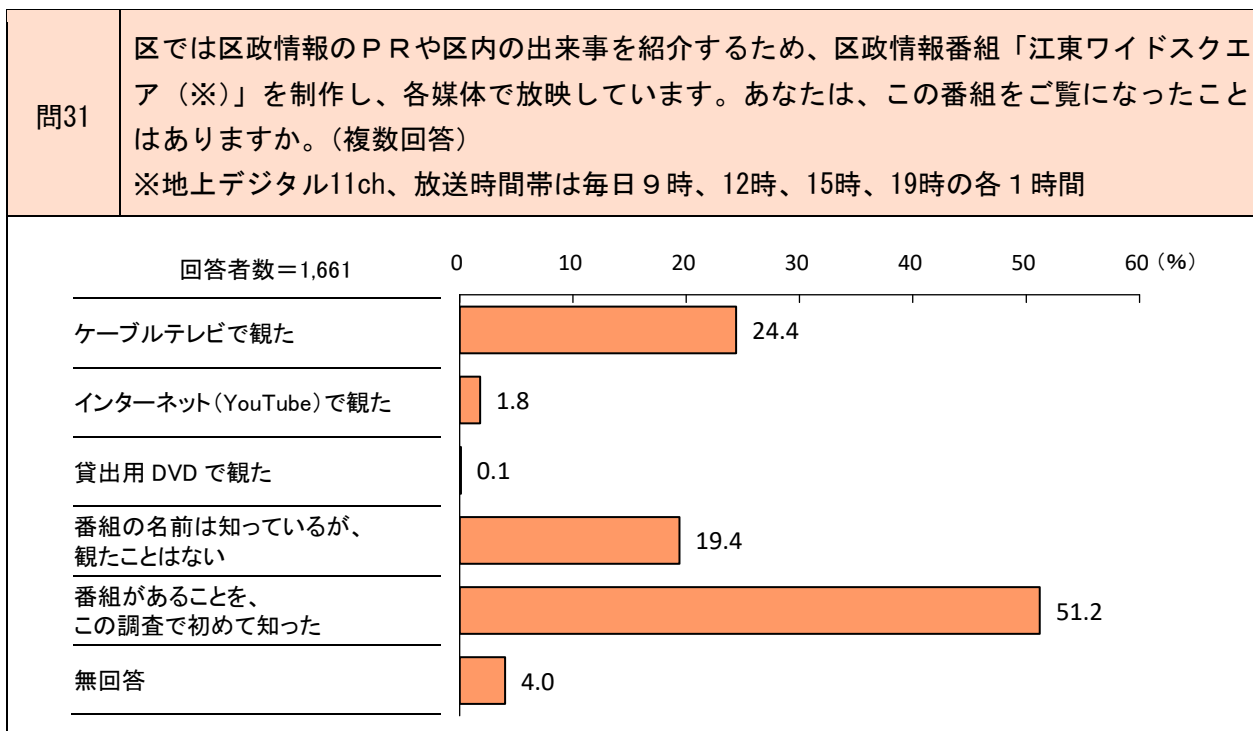
◇「こうとう区報」が7割台半ば



○区が行っている事業やイベント、仕事内容などの情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」(74.4%)が7割台半ばで最も多く、次いで「江東区ホームページ」(24.6%)、「ちらし・パンフレット」(9.8%)、「新聞」(9.0%)と続いている。

(4)「江東ワイドスクエア」の視聴状況

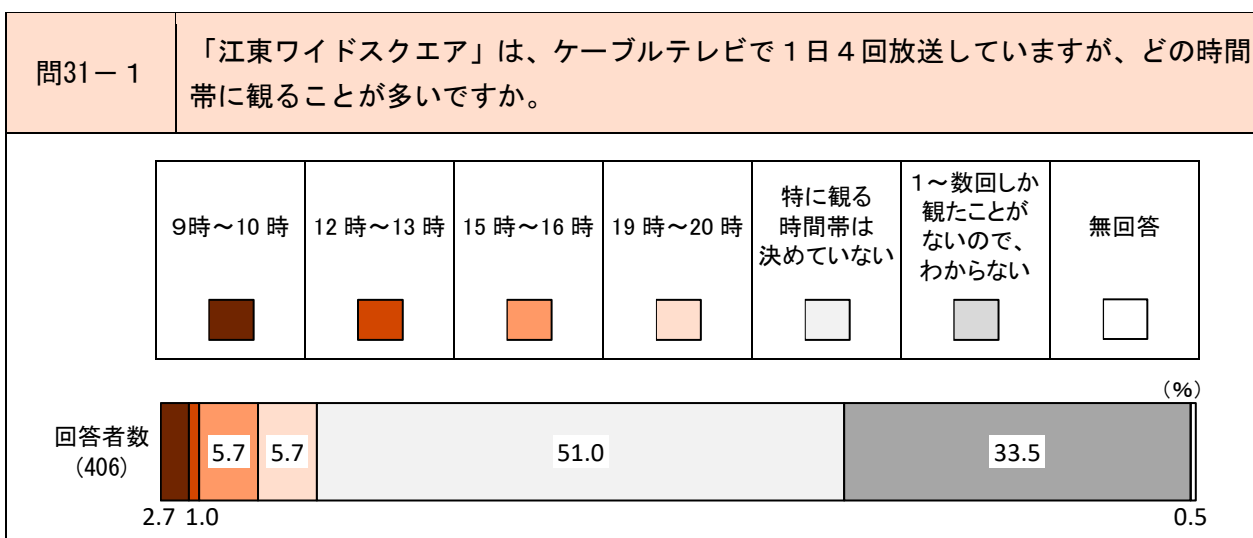
◇「ケーブルテレビで観た」が2割台半ば



○「江東ワイドスクエア」を見たことがあるか聞いたところ、見た中では、「ケーブルテレビで観た」(24.4%)が2割台半ばで最も多い。一方、「番組の名前は知っているが、観たことはない」(19.4%)がほぼ2割、「番組があることを、この調査で初めて知った」(51.2%)が5割を超えている。

(5)「江東ワイドスクエア」の視聴時間帯

◇「特に観る時間帯は決めていない」が5割を超える

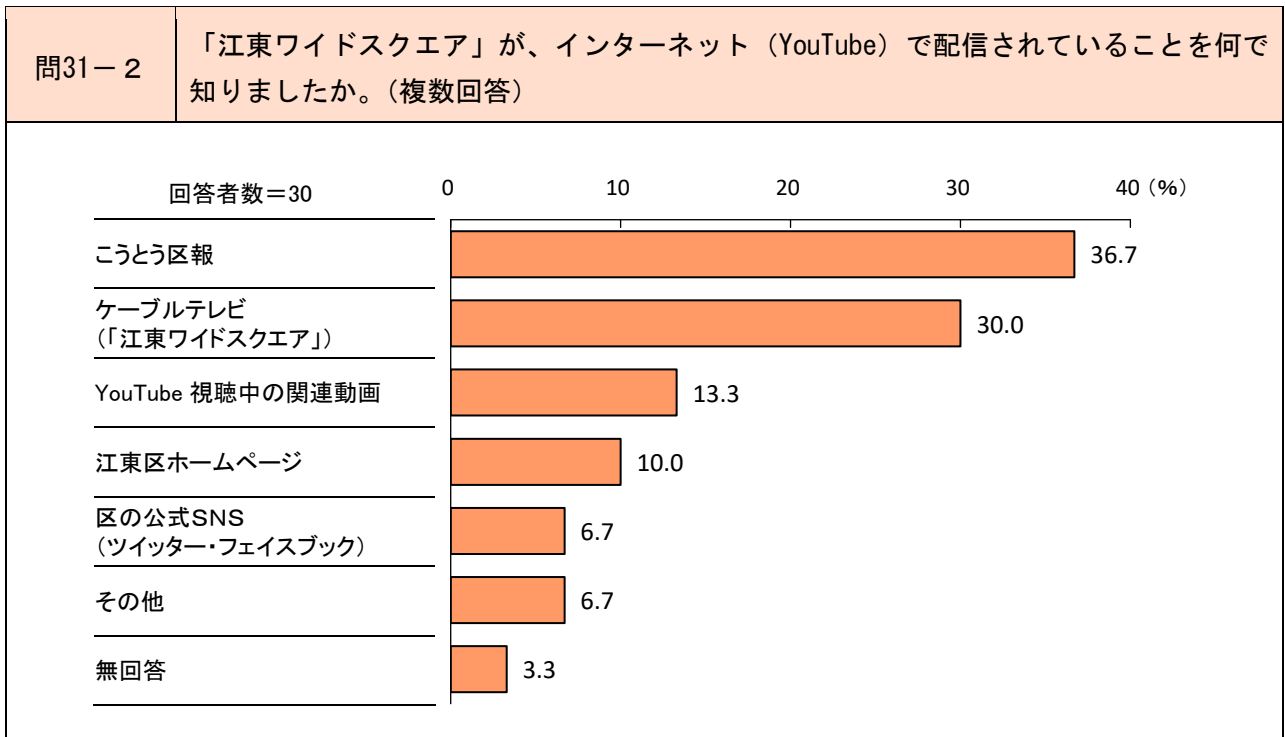


○「江東ワイドスクエア」をケーブルテレビで観たことがあると答えた方(406人)に、どの時間帯に観ることが多いかを聞いたところ、「特に観る時間帯は決めていない」(51.0%)が5割を超えて最も多く、次いで「1~数回しか観たことがないので、わからない」(33.5%)、「15時~16時」(5.7%)、「19時~20時」(5.7%)と続いている。

(6) 「江東ワイドスクエア」インターネット配信の認知媒体

新規

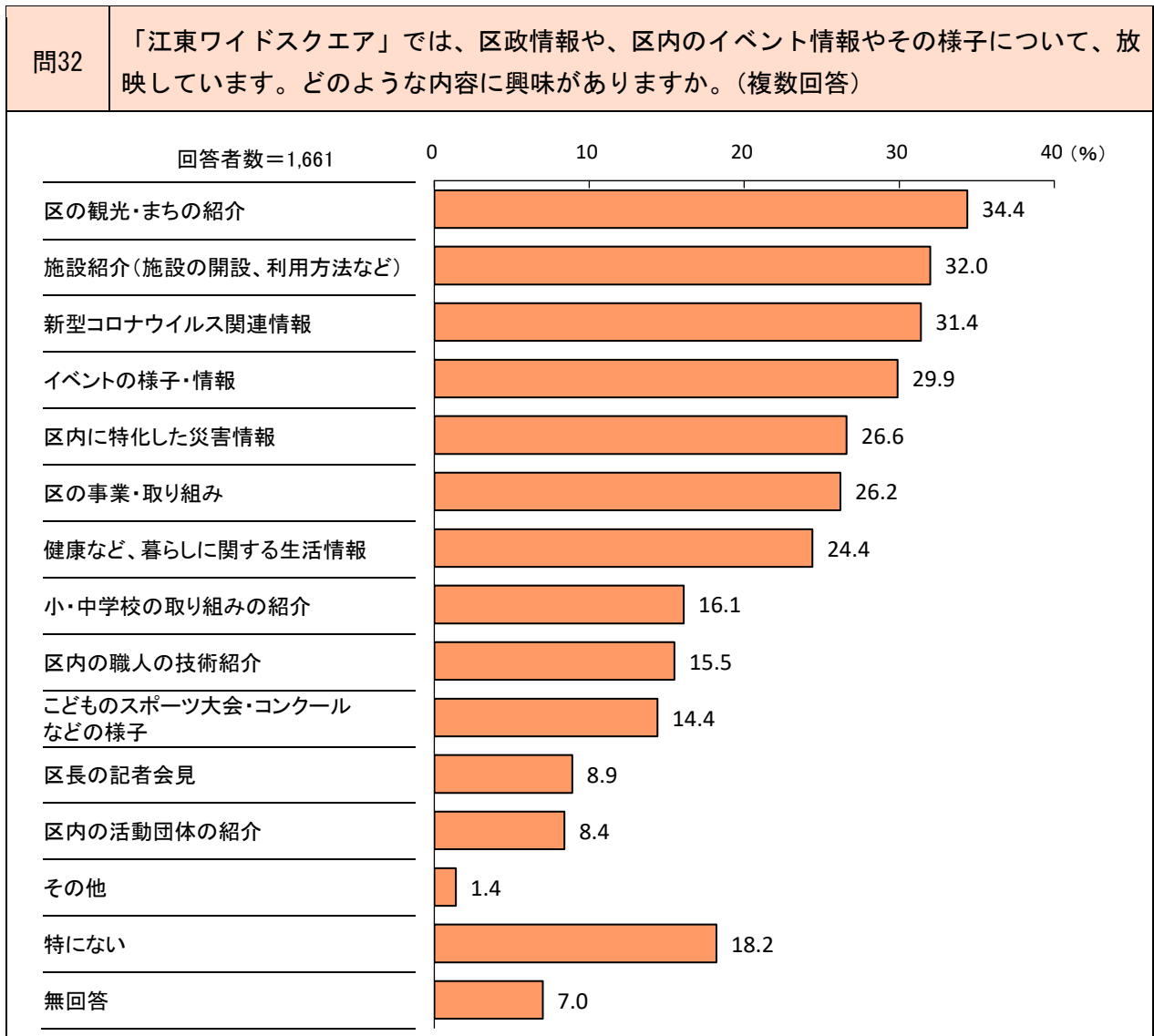
◇ 「こうとう区報」が4割近く



○ 「江東ワイドスクエア」をインターネットで観たことがあると答えた方（30人）に、インターネットで配信されていることを何で知ったかを聞いたところ、「こうとう区報」（36.7%）が4割近くで最も多く、次いで「ケーブルテレビ（「江東ワイドスクエア」）」（30.0%）、「YouTube 視聴中の関連動画」（13.3%）と続いている。

(7) 「江東ワイドスクエア」で興味のある内容

◇「区の観光・まちの紹介」が3割台半ば



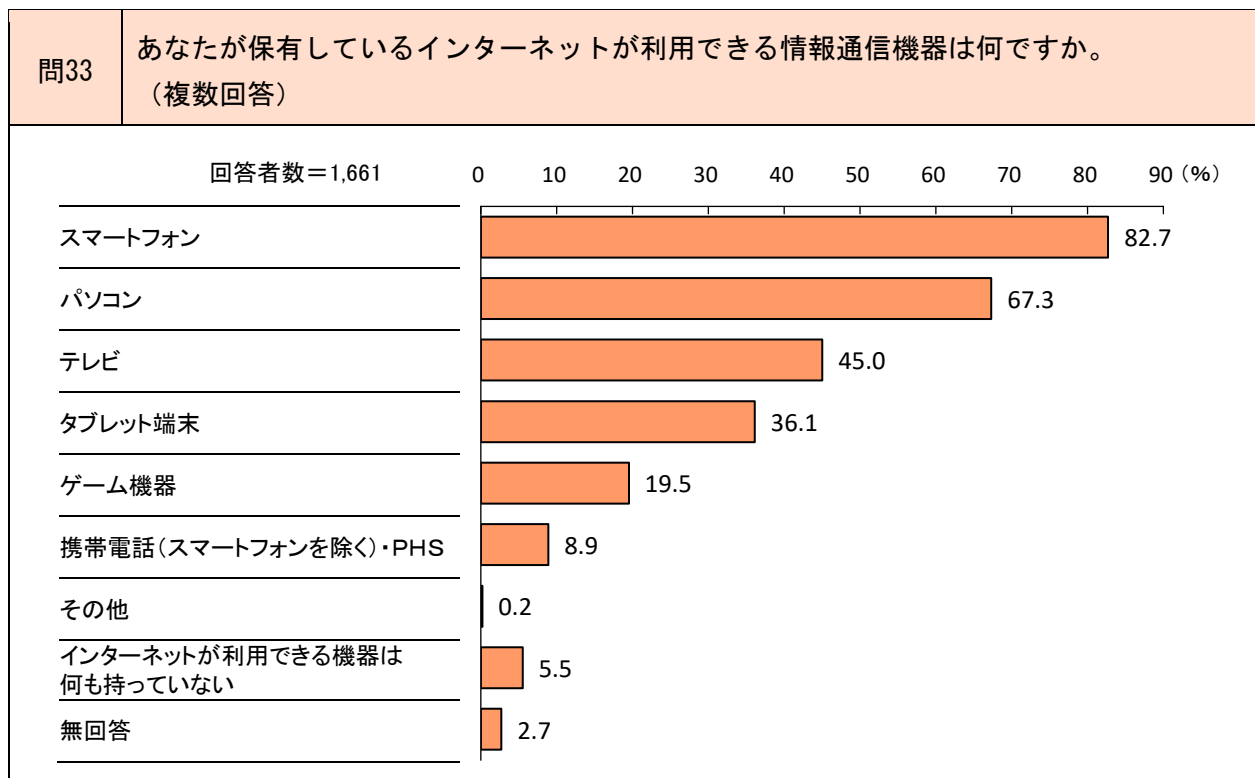
○「江東ワイドスクエア」で、どのような内容に興味があるかを聞いたところ、「区の観光・まちの紹介」(34.4%)が3割台半ばで最も多く、次いで「施設紹介(施設の開設、利用方法など)」(32.0%)、「新型コロナウイルス関連情報」(31.4%)と続いている。

14 ICT

(1) インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況

新規

◇「スマートフォン」が8割を超える

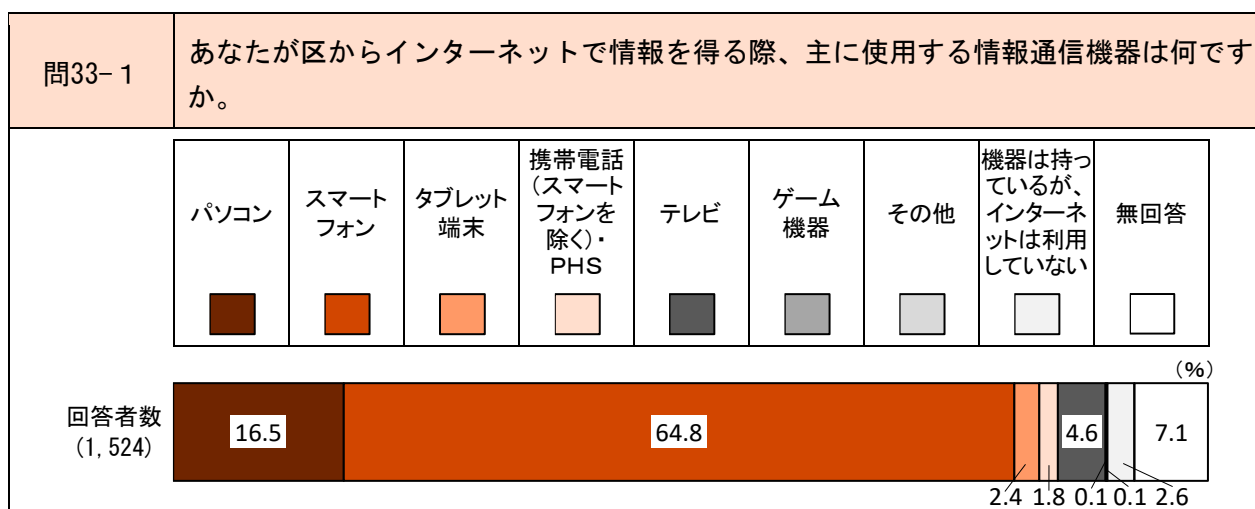


○インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況を聞いたところ、「スマートフォン」(82.7%)が8割を超えて最も多く、次いで「パソコン」(67.3%)、「テレビ」(45.0%)と続いている。一方、「インターネットが利用できる機器は何も持っていない」(5.5%)は1割未満となっている。

(2) 主に使用する情報通信機器

新規

◇「スマートフォン」が6割台半ば

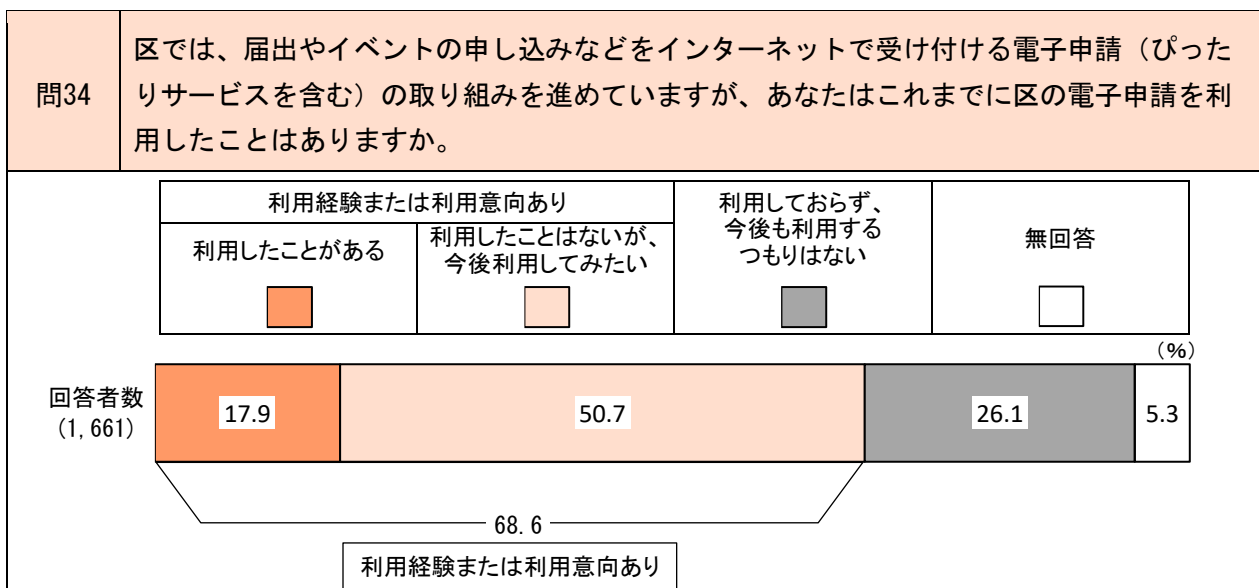


○インターネットが利用できる情報通信機器を持っている方(1,524人)に、インターネットで情報を得る際に主に使用する情報通信機器を聞いたところ、「スマートフォン」(64.8%)が6割台半ばで最も多く、次いで「パソコン」(16.5%)、「テレビ」(4.6%)と続いている。

(3) 区の電子申請の利用状況

新規

◇「利用したことはないが、今後利用してみたい」がほぼ5割

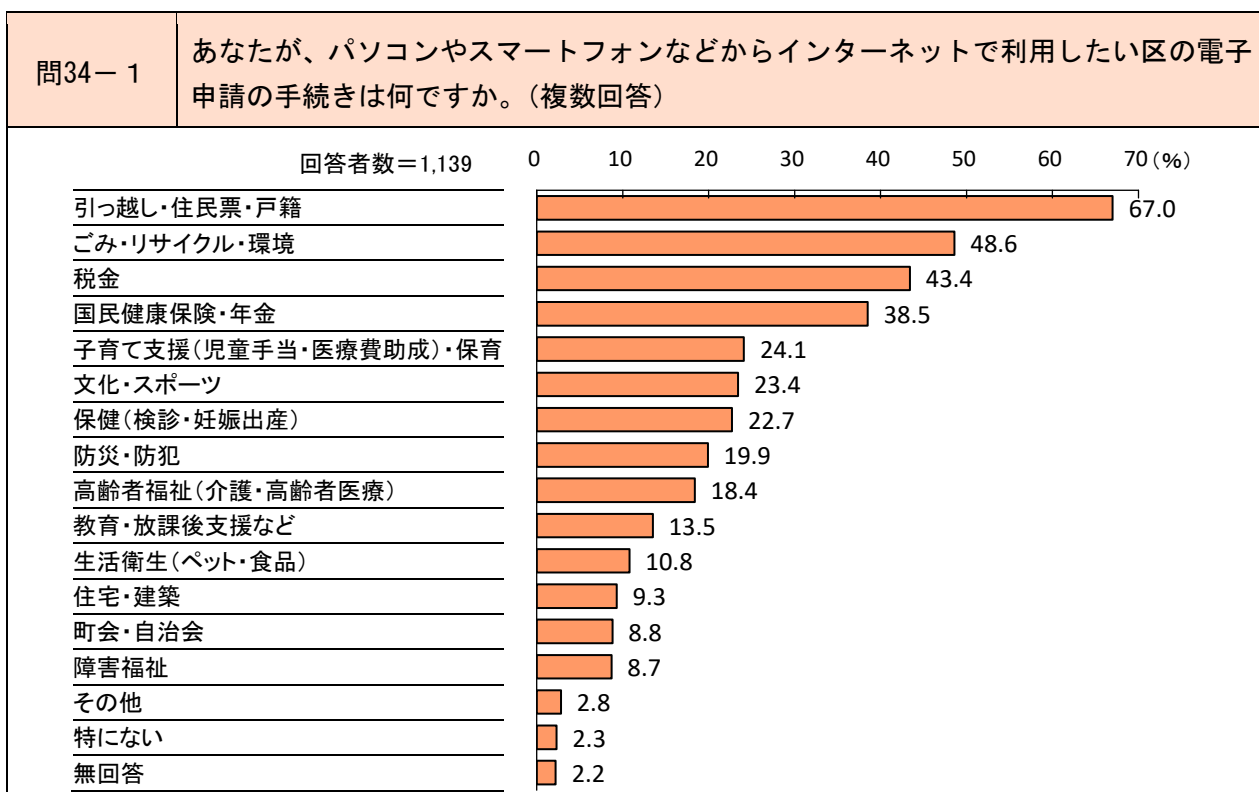


○区の電子申請を利用したことがあるかを聞いたところ、「利用したことはないが、今後利用してみたい」(50.7%)がほぼ5割で最も多く、「利用したことがある」(17.9%)を合わせた《利用経験または利用意向あり》(68.6%)が7割近くとなっている。一方、「利用しておらず、今後も利用するつもりはない」(26.1%)は2割台半ばとなっている。

(4) 利用したい区の電子申請の手続き

新規

◇「引っ越し・住民票・戸籍」が7割近く

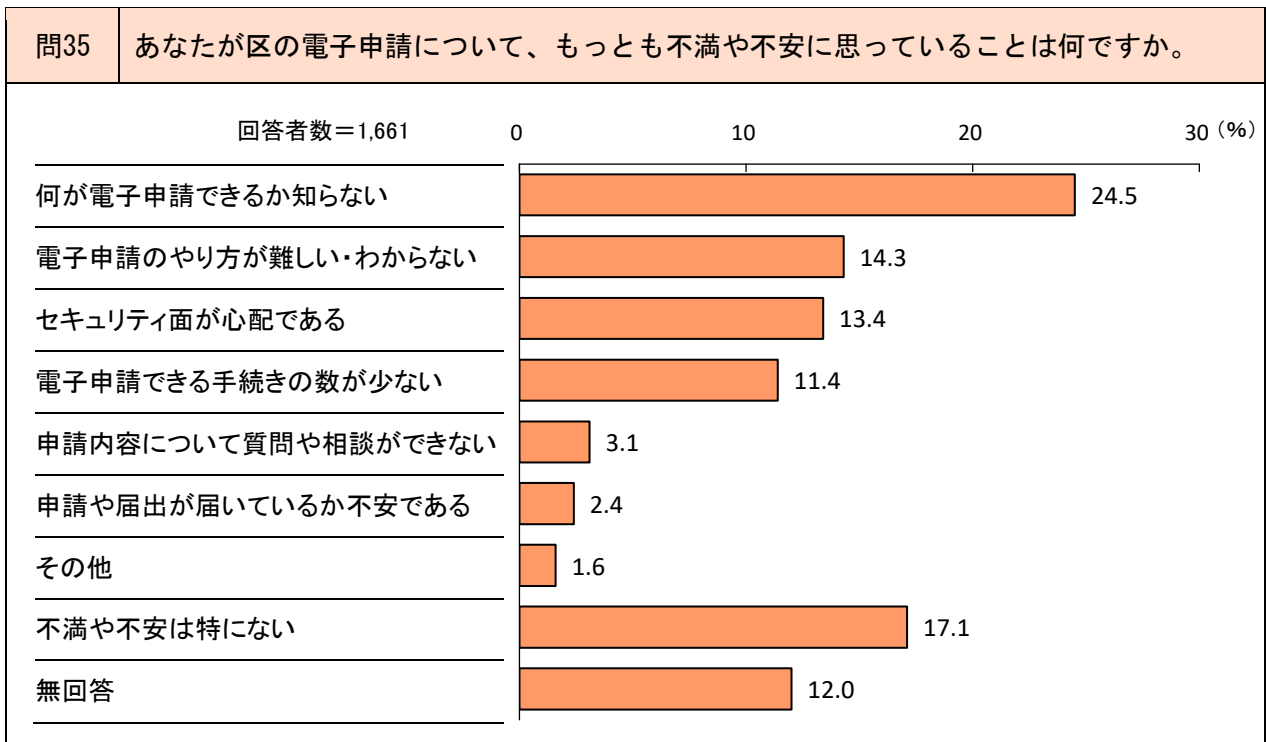


○区の電子申請を利用したことがある、または、利用したことはないが今後利用してみたいと答えた方(1,139人)に、利用したい区の電子申請の手続きを聞いたところ、「引っ越し・住民票・戸籍」(67.0%)が7割近くで最も多く、次いで「ごみ・リサイクル・環境」(48.6%)、「税金」(43.4%)と続いている。

(5) 区の電子申請について、不満や不安に思っていること

新規

◇「何が電子申請できるか知らない」が2割台半ば

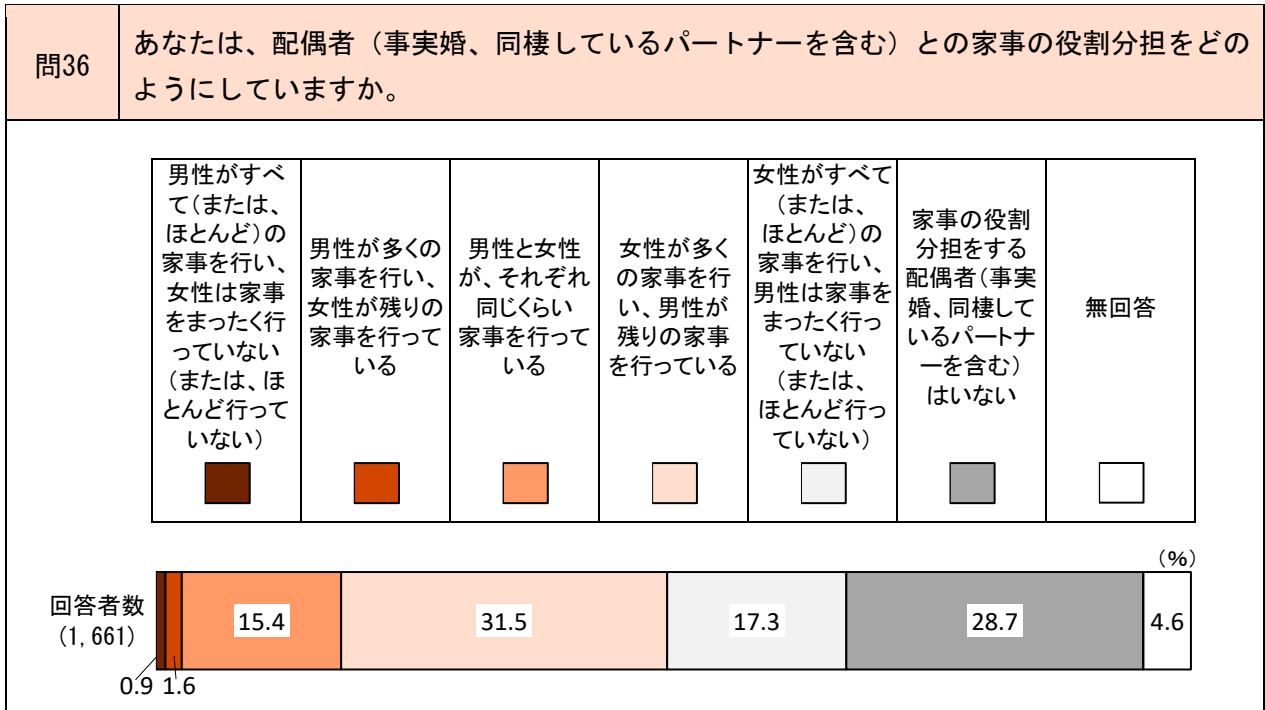


○区の電子申請について不満や不安に思っていることを聞いたところ、「何が電子申請できるか知らない」(24.5%)が2割台半ばで最も多く、次いで「電子申請のやり方が難しい・わからない」(14.3%)、「セキュリティ面が心配である」(13.4%)と続いている。一方、「不満や不安は特にない」(17.1%)は2割近くとなっている。

15 男女共同参画

(1) 配偶者との家事の役割分担

◇「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」が3割を超える



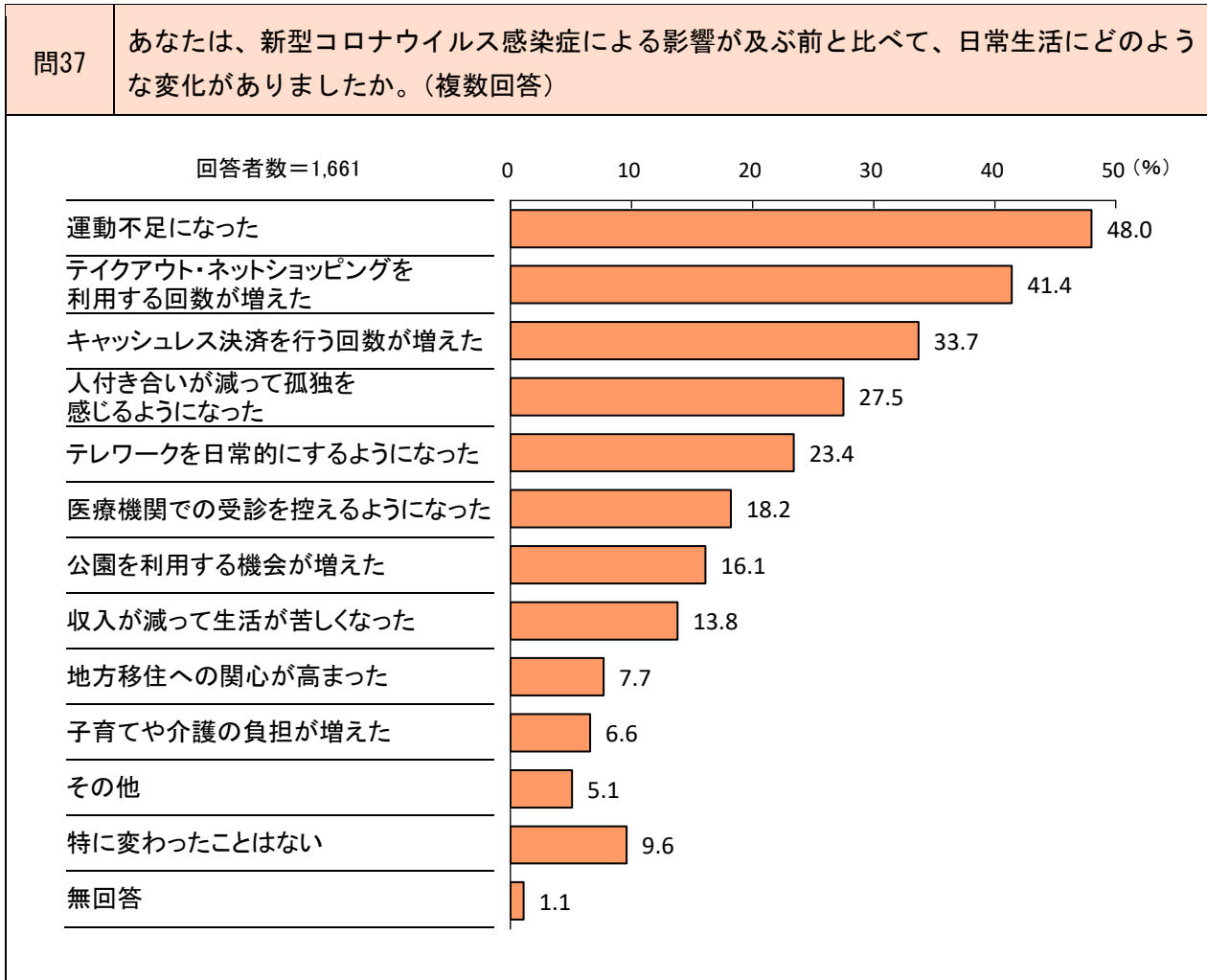
○配偶者との家事の役割分担について聞いたところ、「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」(31.5%)が3割を超えて最も多く、次いで「女性がすべて（または、ほとんど）の家事を行い、男性は家事をまったく行っていない（または、ほとんど行っていない）」(17.3%)、「男性と女性が、それぞれ同じくらい家事を行っている」(15.4%)と続いている。一方、「家事の役割分担をする配偶者（事実婚、同棲しているパートナーを含む）はいない」(28.7%)は3割近くとなっている。

16 コロナ禍による生活の変化

(1) 新型コロナウイルス感染症による日常生活の変化

新規

◇「運動不足になった」が5割近く

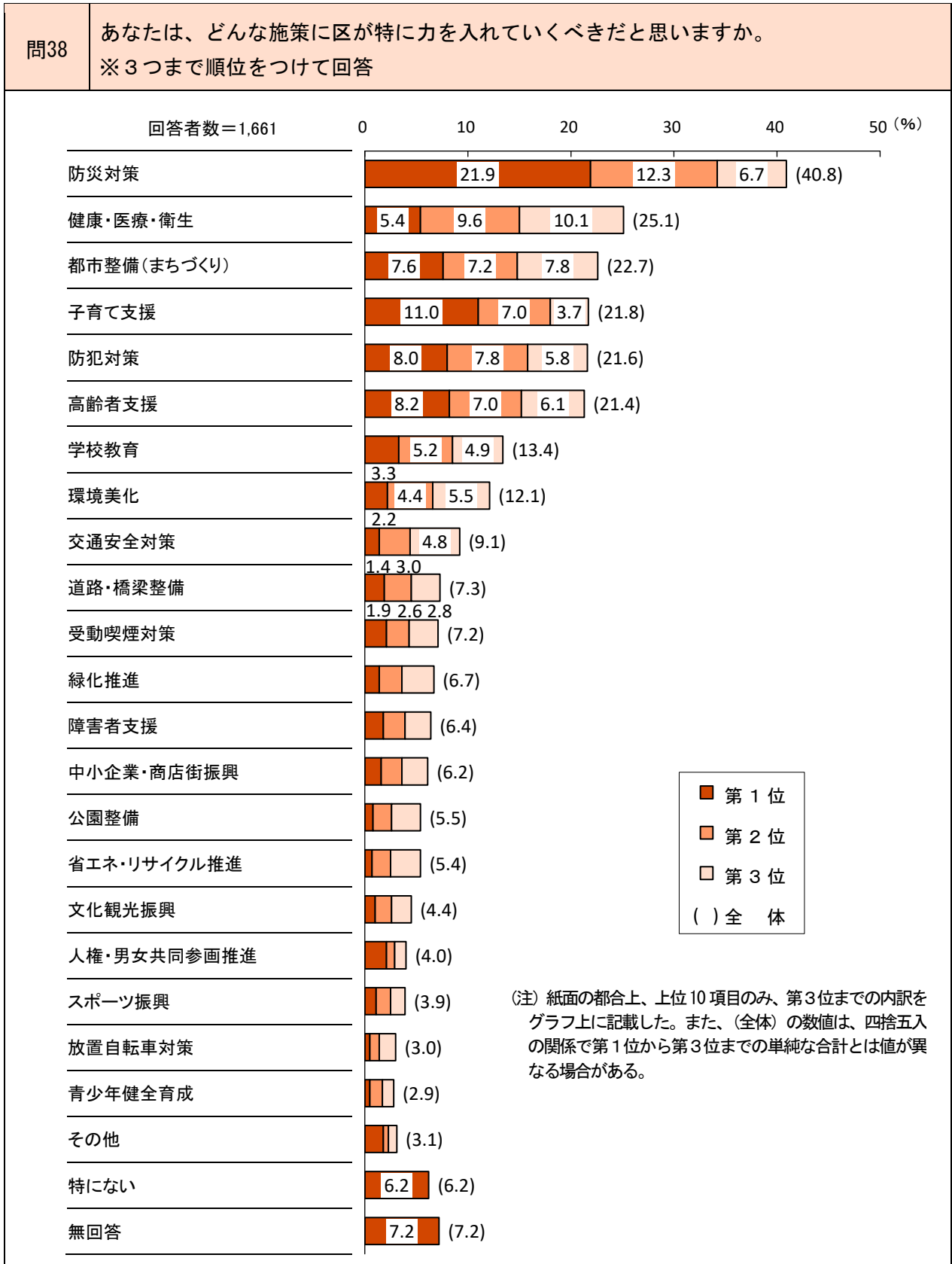


○新型コロナウイルス感染症による影響で日常生活にどのような変化があったかを聞いたところ、「運動不足になった」(48.0%)が5割近くで最も多く、次いで「テイクアウト・ネットショッピングを利用する回数が増えた」(41.4%)、「キャッシュレス決済を行う回数が増えた」(33.7%)と続いている。

17 施策への要望

(1) 力を入れてほしい施策

◇「防災対策」がほぼ4割



○区に対して特に力を入れてほしいものを、第1位から第3位までを累計した《全体》でみると、「防災対策」(40.8%)がほぼ4割で最も多く、次いで「健康・医療・衛生」(25.1%)、「都市整備(まちづくり)」(22.7%)と続いている。

第 25 回 江東区政世論調査 〈概要版〉

令和 3 年（2021 年）12 月発行 印刷物登録番号（3）44 号

編集発行 江東区 政策経営部 広報広聴課 広聴相談係
江東区東陽 4-11-28 2 階 22 番窓口
電話：03-3647-2364 FAX：03-3647-9635

調査機関 株式会社アダムコミュニケーション